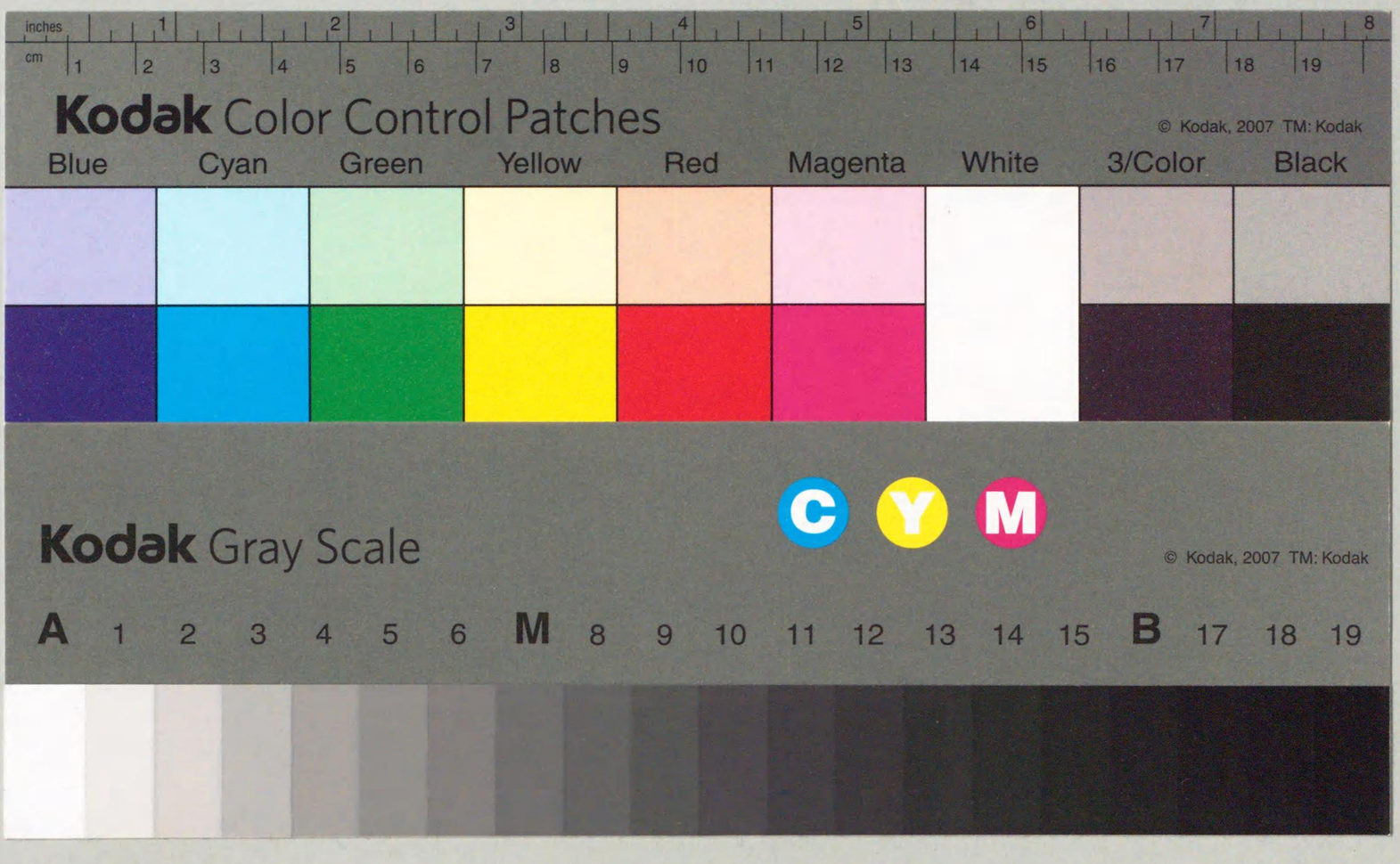


DK35
5
00823276

北G-43

部外秘

臺灣の道路

臺灣總督府交通局

昭和十六年九月

本書ハ非公表物ニ
取扱ニ付キ御注意被
下度候

2446

DK35
5

823276

41

臺灣の道

臺灣の道路

目次

緒言……一
第一章　道路施設の沿革……一
　第一節　始政當時の狀況……一
　第二節　始政以後の施設……三
第二章　道路管理機關……九
第三章　從來の道路施設の成績……一三
第四章　道路の現況……一四
　第一節　道路の種類及其の延長……一四
　第二節　指定道路の路線……一八
　一　縱貫道路……一八
　二　縱貫道路以外の指定道路……二〇

目次

第三節　各主要地間交通連絡の現況……五五
第四節　現在施行中の道路工事……五八
一　國庫事業……五八
イ　縱貫道路改修工事……六一
ロ　新店礁溪間道路改修工事……六一
ハ　花蓮港臺東道橋梁架設工事……六五
ニ　中部橫斷道路開鑿工事……六六
ホ　道路改良工事……六八
ヘ　產金道路開鑿工事……六九
ト　災害復舊工事……七三
二　地方費事業……七四
イ　國庫補助指定道路改修事業……七四
ロ　其の他の事業……七四

附屬統計

一　道路費支出額累年表……八七
二　昭和十六年度地方費歲出ト道路費……九一
三　各年末道路延長及坪數……九四
四　昭和十四年末地方別道路延長及坪數……九七
五　各年末橋梁箇所、延長及坪數……九七
六　昭和十四年末地方別橋梁箇所、延長及坪數……一〇〇
七　各年度道路新設延長……一〇〇
八　昭和十三年度地方別道路新設延長……一〇二
九　各年度道路改築延長……一〇三
一〇　昭和十三年度地方別道路改築延長……一〇四

臺灣指定道路圖

目次終

臺灣の道路

緒言

臺灣は古來官廳は殆んど道路施設に關與することなく、富豪紳等の特志經營に委すべきものと看做されて來たが、明治二十八年度中我が工兵隊の手に依り、四百二十八粁餘の軍道を開鑿したるを手始めとして、地方住民に對し其の新設改築を奬勵し、保甲民の出役其の他の寄附、地方費又は國費に依つて、延長一萬七千五百餘粁の道路を得るに至つた。

然し臺灣は地形山地に富み、河川の亂流亦甚しいので、道路事業の遂行は容易でなく、此等道路の幅員は約七割迄は自動車を通じ得るものとなつたが、今尙路面軟弱で橋梁其の他の各種構造物を缺く個所が少からざる現狀である。以下主として國庫の道路事業に就き從來の沿革と其の現況とを略述し、尙全島の道路橋梁施設の推移を表示する。

第一章　道路施設の沿革

第一節　始政當時の狀況

臺灣が清領であつた時代は交通路の不完全は匪賊横行の害を阻止するものであるとして、歴代爲政者の多くは道路橋梁の施設に意を用ひず、領有二百十餘年の間に於て、僅かに東部臺灣の統治開拓の爲、下淡水溪左岸臺東間（恒春經由）枋寮大武間、南投玉里間、蘇澳花蓮港間、集々拔子間及臺北頭圍間に、漸く人の歩行し得る程度の軍用道路を新設したのと、西班牙人に依つて創設せられた基隆淡水道の改築を爲したのとが國庫の主なる事業であつて基隆下淡水溪右岸間、基隆蘇澳間及臺北淡水間の如き幹線道路は全く移住民の開拓又は富豪縉紳の義擧に成り、政府は其の路線内に於ける一部の大河の渡船に官渡の制を施行したに過ぎなかつたものゝ様である。爰に當時の河川の渡渉制度を窺つて見ると官渡、義渡、民渡の三種に分たれるが、官渡は官田を給して其の收入で渡船を經營し、義渡は捐金其の他に依つて基本財産を作り其の收入で渡船を經營するもので、此の二者は何れも渡船賃を徴さなかつた、民渡は個人經營に依る渡船で一般の旅客から一人一文以内の賃銀を徴收して居た。

清領時代に於ける道路政策は上述の如くであつたが爲、我が始政の當時にあつては全島の道路は普及せず、總ての大、中河川には橋梁の架設されたものが無く、幹線道路であつても臺北と臺南の附近を除いては漸く人が竝んで通行出來る程度の路幅に築造されたに過ぎないで、然かも其の工法が全く一時的なのに加へて、之が保存修理の方法を講じないで自然に放任せられて居つたが爲、荒廢甚だしく多くは空しく榛莽の間に埋沒して其の形體の見るべきものが無かつた。

第二節　始政以後の施設

明治二十八年臺灣が我領土となるに及んで、軍政の下に主要道路の新設改築を計畫せられ、近衛師團と第二師團の工兵隊に依つて翌二十九年三月迄に臺中臺南間、臺南安平間、臺南旗山間、鳳山高雄間、鳳山東港間、臺中埔里間等の區間で總延長四百二十八粁六百十九米を新設された。本工事は只管其の速成を期し總て軍路開鑿方に準據して設計施行せられたが爲、固より不完全なるを免れなかつたが、然し實に改隷後最初の大事業であつて將來に於ける道路事業の遂行に多大の貢獻を爲したものである。

明治二十九年四月軍政が廢止され、之に接で民政が施行せられて其の際には臨時土木部を置き土木事業の擴張を計られたが、同部の道路事務は豫算、路線の調査、既成道路橋梁の修繕及臺北市内の外市街地附近に於ける一、二の道路の改築工事を主とし、其の他の工事は混成旅團に委任して工兵隊をして、軍用道路を先にし一般道路を次として施行せしめた。本方法に依つて二十九、三十兩年度に於て軍隊の新設又は改築した道路の總延長は四百五十二粁に上り、基隆蘇澳間、基隆臺北間、臺北新店間、臺北淡水間、北投新北投溫泉場間、新竹臺中間、東港恒春間、枋寮臺東間等を其の主なるものとし、工費は四十八萬七千餘圓を算したが、此の間臨時土木部に於ては重要路線一千百粁餘の調査と、臺北市内道路、芝山巖道路、新竹舊港道、臺北宜蘭道の一部たる臺

北深坑間及礁溪小金面山間、臺灣神社道（舊道）等總延長三十一粁餘の新設又は改築を施行した。

改隷以後明治三十年度に至る三箇年の短期に於て九百十餘粁に上る道路を新設又は改築せられ、當時の軍事及行政上必須の道路は略築造せられたりとは云へ、其の工法は軍路式の不完全なものであつたから、以後の道路事業は尚極めて多事であつたのに、明治三十年十月臨時土木部の廢止と共に道路事業の現業事務は多ぐ地方廳の所管に移り、殊に明治三十一年十月から地方稅の制度が敷かれ、土木費は該稅の支辨費目に指定されたのと、當時縱貫鐵道の建設改良及基隆築港工事の急施を要し之に巨額の國費を要したのとで、明治三十二年度から國庫の道路事業費は極度に減額せらるゝに至り、其の後歲計の狀態が好轉しないで、遂に明治四十三年度迄十二箇年の永きに亙り此の狀態を持續して、本島の幹線道路の新設改築事業は殆んど其の進展を停止した。明治三十一年度から同四十三年度迄の十三箇年間に於て國庫の施行した道路の新設又は改築工事は、臺北宜蘭道の內深坑小金面山間及楠梓旗山道等總延長百餘粁に過ぎなかつたが、同期の國庫、地方稅及夫役現品の賦課を合せて施行した工事の總延長は約二百二十粁に上つた。

明治三十一年度以降に於ける道路事業施行の狀況は上述の如く不振であつたが、此の期に在つては民治漸く緖に就いて、道路事業も產業促進策として整理經營する方針の下に各種の調査を進められ、明治三十三年に於ては道路設備準則を內定して、重要道路を一、二、三等の三種に分け、其の敷幅を一等道路十二米七十二糎以上、二等道路十米九十一糎以上、三等道路九米九糎以上として各其の築造定規を定め、道路選定の調査標準を示して、地方廳をして翌三十四年の初頭迄に管內の取調を完了せしめ、其の後總督府は之を實地踏査して路線の取捨選擇を爲す一方各縣及廳をして其の概測を施行し敷地を確定させる方針を採つて進み、更に明治三十七年度から圖式道路臺帳調製の計畫を樹て、三十八年一月二十五日附を以て各廳（澎湖廳及臺東廳を除きたり）に道路調査方法を通達すると共に、其の調査路線約二千七百五十粁を指定した。其の後國庫は此の指定道路及後に追加指定した道路以外の道路に對しては改築費又は災害費を支出せず、又地方費は此の道路の外は維持修繕を行はないことゝして今日に及んで居るから、本件は現在の本島道路事業施行方針の根源を爲すものである。

越えて明治四十一年度からは地方稅たる家稅に特別賦課を爲し、其の財源を以て前述の指定道路に永久工の橋梁を架設する方策を樹てられたが、明治四十年の調査に依るに、指定道路內に於ては永久工の橋梁は無く、渡船場五十四箇所、徒涉場五百四十二箇所を算する狀態であつたので、此の方策は之が對應策の一として、眞に已むなきに出でたるものなることが窺はれる、左に其の府議決定の理由書等を揭げる。

領臺以來道路ノ新開又ハ改修セラレタルモノ其ノ數甚ダ多シト雖概ネ橋梁暗渠ノ設ナク其ノ適々之アルハ人民ノ寄附若ハ私營ニ係ル脆弱ナル假橋ニ過ギザルガ故ニ重要ノ道路ト雖猶未ダ車馬ヲ通行セシムルコト能ハズ從テ貨物ノ運搬ノ如キ依然トシテ擔送ノ舊態ヲ存續シ更ニ其ノ面

目ヲ改ムルニ至ラザルハ實ニ遺憾ニ有之候尤モ本府ニ於テ敢テ之ヲ等閑ニ附シ來リタル儀ニハ無之毎年多少ノ經費ヲ支出シテ是等ノ設備ヲ企圖致居候ヘ共迚モ今日ノ財政ヲ以テシテ容易ニ其ノ目的ヲ達スベキ見込無之然ルニ社會ノ進運ハ日一日ト是等ノ設備ヲ促シ今ヤ是非トモ之ガ解決ヲ爲サザルベカラザル時期ニ迫リ候ヘバ止ムヲ得ズ追テ何分ノ法規制定セラルル迄各地方廳ヲシテ重要道路ニ設備スベキ橋梁ハ該地方ノ利益ニ應ジ地方稅ノ增課ヲ爲シ以テ漸次ニ之ヲ經營スベキ方法ヲ立テシメ候樣致度由來增稅ノ忽ニサルベカラザルハ勿論ノ議ニ有之候ヘ共今日ノ如ク人民ガ假橋ナリトモ其ノ腐朽又ハ墜落スル毎ニ幾回トナク架橋ヲ繰返シツヽ費用モ恐ラク年分ニハ相應ニ巨額ニ上ルベケレバ今之ヲ增稅ニ代ヘ候トテ人民ノ負擔ニ格別大差モ有之間敷況ンヤ增稅ヲ以テ一回架設シタルモノハ少ナクトモ數年存續スベキニ付其ノ間ハ增稅ヲ要セズ候ヘバ單ニ人民ノ經濟ノミヲ考フルモ寧ロ得策ト被存候間左案ノ如ク各廳ヘ申牒相成可然哉

各廳長宛（臺東、恒春及澎湖廳ヲ除ク）　土木局長
財務局長出

重要道路ニ屬スル橋梁暗渠ニシテ未ダ相當ニ設備サレザルモノ少ナカラザル爲折角築造セシ道路モ運輸交通ノ效用ヲ全フスルコト能ハザルモノ多ク有之甚ダ遺憾ノ次第ニ候ヘ共今日ノ場合經常ノ歲入ノミヲ以テシテハ容易ニ之ガ完備ヲ期シ難キ事情モ有之候ニ付迫テ法規ヲ制定モラルル迄篤ト地方ノ民力ヲ鑑ミラレ利益ノ厚薄ニ依リ地方稅ノ增課ヲ爲シ以テ漸次ニ右橋梁ノ不備ヲ補フベキ方法ヲ立テラレ候テハ如何ニ候哉此段得貴意得也

（以上明治三十九年八月決定）

各廳長宛　土木局長出

重要道路ニ屬スル橋梁暗渠修築ノ件ニ關シ去ル三十九年八月中土木局長及財務局長ヨリ通牒ニ及ビタル次第モ有之各廳中該通牒ノ主旨ニ依リ橋梁ノ修繕ニ著手セルノ向ナキニアラズト雖近來各道路トモ橋梁暗渠ハ益々大破ヲ極メ今ヤ其ノ施設上等閑ニ附スベカラザル場合ニ立至リタル義ト存候然ルニ今日ノ場合財政ノ都合上經常ノ歲入ノミヲ以テシテハ容易ニ其ノ完備ヲ期シ難キニ依リ經常歲入ノ外今後三年乃至五年ヲ期シテ地方稅ヲ增課シ又ハ寄附ニ依ル等地方ノ民力ト情況トニ鑑ミ適當ノ施設方法ヲ設ケ重要道路ニ屬スル橋梁ハ總テ永久的架設ヲ遂行シ以テ運輸交通ノ便ヲ企圖致度ト存候條右ニ對スル意見及其ノ施設方法トモ來ル四十三年三月末迄ニ御申越相成度此段及照會候也

（以上明治四十一年十二月照會）

斯くの如き經過を以て地方費の道路事業に對する投資が漸く增加せるに加へて、明治四十四年度以降に於ては國費の道路事業に對する支出も次第に增加し、大正八年度からは其の年額百萬圓を超ゆるに至つたので、前記の地方稅の特別賦課は大正九年度限り之を廢止したが、其の十三箇年間に於ける賦課の總額は二百四十八萬五千圓に上つた。明治四十四年度から大正十四年度迄の

（百二十二粁八百三十六米）蘇澳花蓮港道（百二

十一粁八百五十四米）新化玉井道（二十四粁二百十八米）及縦貫道路（基隆屏東間の道路を謂ふ）の新設又は改築工事を主なるものとし、其の他は各指定道路内に於ける橋梁の架設又は改築工事及道路橋梁の災害復舊工事であつて、縦貫道路内の大橋梁である臺北橋、大肚橋及び二層橋は此の期間に完成したものなある。此の期に於ては道路の構造物は特殊の事情がない限り總て永久工と爲し、地方費支辨で行つた事業も成るべく此の方針で進ませることゝしたが、地方税の特別賦課が廃止された大正九年度末にあつては、指定道路内の永久工の橋梁数は、一千三百五十二箇所を算し、其の總延長は十三粁五十米に上るに至つた。

大正十五年度以降に於ける本島の道路事業は改築、改良に主力を注ぐに至つて、國庫事業としては左の各工事を何れも交通局道路港灣課の直轄で施行し、又昭和五年度よりは國庫補助に依る各州管内重要指定道路改修工事を繼續的に施行せしめることゝし、昭和十二年度以降は之に各廳管内のものをも加へて今日に至つてゐる。

大正十五年度起工　縦貫道路（延長四六一、六七三米）改修工事
昭和二年度起工　蘇澳花蓮港道改修工事　昭和七年度完成
昭和四年度起工　明治橋架替工事　昭和七年度完成
昭和六年度起工　二屑橋架害復舊工事　昭和七年度完成
昭和七年度起工　臺東大橋架設工事　昭和九年度完成
昭和八年度起工　楓港呂家溪間（延長一〇六粁）道路改修（新設及改築）工事　昭和十五年度完成
昭和九年度起工　蘭陽大橋架設工事　昭和十年度完成
昭和十年度起工　臺北基隆間道路改良（舗裝）工事　昭和十五年度完成
昭和十一年度起工　新店礁溪間（延長六五粁）道路改修（新設）工事
昭和十四年度起工　高雄州管内縦貫道路改良（舗裝）工事
昭和十五年度起工　花蓮港臺東道橋梁架設工事
産金道路霧社富士間開鑿工事
産金道路溪畔タビト間開鑿工事
楓港臺東道災害復舊工事
昭和十六年度起工　縦貫道路中壢臺南間簡易舗裝工事
中部横斷道路開鑿工事

第二章　道路管理機關

道路の直接の管理に關する事務は地方廳の主管に屬せしめ、中央官廳は其の地方廳の事務を指揮監督し、又地方廳の所管としては不適當なりと認める事業に在つては中央官廳で取扱ふことは、道路行政事務處理上の通念である。我が臺灣に在つても從來此の例に依つて、道路の現業事務は主として地方廳で取扱つて來た。中央官廳の主管部局は幾變遷を重ねて今日に至つたが左に之を表示する。

總督府に於ける道路事務主管部局の沿革

期間	道路事務主管部局課	同上ノ官制上ノ關係	主管事務
自明治二十九年五月 至同三十年十月	民政局臨時土木部	臺灣總督府民政局臨時土木部官制	直轄臨時土木工事ノ施行ニ關スル事項
自同 至同三十一年六月	財務局土木課	臺灣總督府官制、府行政事務規程	一、直轄ノ工事ニ關スル事項 二、各官廳ノ土木工事監督ニ關スル事項
自同 至同三十四年十一月	民政部土木課	臺灣總督府官制、府官房及民政部分課規程	一、直轄ノ工事ニ關スル事項 二、各官廳其他公共ノ土木工事ノ計畫施工ニ關スル事項 三、土木工事ノ技術ニ關スル事項 四、渡船ニ關スル事項 五、土木營繕行政ニ關スル事項
自同　年十一月 至同四十二年十月	民政部土木局土木課	同	一、土木營繕事業ノ會計ニ關スル事項 二、土木營繕ニ關スル事項 三、道路、上水、下水、港灣、河川、運河及埤圳其ノ他土木工事ニ關スル事項 四、土木ニ關スル技術ニ關スル事項
自同 至大正八年八月	民政部土木局庶務課土木課	臺灣總督府官制、府官房及民政部各局署部分課規程	土木部庶務課ニ同シ 同工務課ニ同シ
自同 至同十三年八月	土木局庶務課 同土木課	臺灣總督府官制、府官房及各局部事務分掌規程	民政部土木局庶務課ニ同シ 同土木課ニ同シ
自同　年十二月 至現在	交通局道路港灣課	臺灣總督府交通局官制 同局事務分掌規程	一、道路橋梁ニ關スル事項 二、港灣ノ工事ニ關スル事項 三、港灣ノ計畫竝設備ノ調査ニ關スル事項 四、花蓮港港則ニ關スル事項（港務部ノ主管ニ屬スル事項ヲ除ク） 五、運河ニ關スル事項

尚現在に於ける臺灣總督府交通局の道路事務其の他の分掌組織を表示すれば左の如くである。

臺灣總督府交通局事務分掌組織一覽表

- 交通局
  - 總務課
  - 鐵道部
  - 遞信部
  - 道路港灣課
    - 庶務係
    - 經理係
    - 道路係
    - 港灣係
    - 第一工事係
    - 第二工事係
  - 基隆築港出張所
  - 新高築港出張所
  - 高雄築港出張所
  - 花蓮港埠頭出張所
  - 花蓮港鐵道出張所
  - 基隆海事出張所
  - 高雄海事出張所

第三章　從來の道路施設の成績

臺灣の改隷以後に於ける文化の發達は實に驚くべきものがあるが、就中産業の發達は其の過程を振返るものにとつて眞に瞳目に値し、明治三十五年には七千八百萬圓に過ぎなかつた生産總額は、昭和五年には六億圓を突破するの飛躍的增加を遂げた。飜つて其の間に於ける産業と唇齒輔車の關係に立つ陸上交通運輸機關の推移を見るに、其の發達は極めて遲々たるものであつて、先づ道路の路體は整はず、橋梁の多くは備はらず、而して道路以外の機關に至つては、道路橋梁の不整備に起因して變則的の經過を辿つて來たものと認められる廉が歷然として居る。卽ち鐵道は當時官私設を合せて三千百三十八粁に上つて居たが、其の內二千七十六粁餘は製糖會社の製糖原料及製品運搬線であつて、此等は當初から道路が普及完備して居たとすれば、少くとも原料運搬の爲にする線路の建設は現在の加く多からしめる必要がなかつたものであるべく、又總延長一千二百餘粁に上つた臺灣特有の軌道（總て人力を以て動力とする後押臺車「トロリー」の如きも主として道路橋梁の不完備に伴ふ施設であつたことを窺はれ、當時尙人の交通に轎が使用せられ、市外道路に荷車又は馬車の使用せらるゝものなく、平水時に於ては河床の渡渉さえも出來る緩行牛車の使用が盛である等、何れも道路橋梁の不整備であつたのに因ることが知られる。

然るに臺灣に於ける産業の大宗は强烈なる光と熱とが地味に天惠する關係上、農業及半農的工業であつて、此等は前述の生産總額六億餘圓の八十パーセントに上り、從つて其の生産地は平地全般に亙るものであるに依つて、臺灣に於ては車輛の交通に適する幹支線道路の普及することは特に緊要なることは自明の理であるが、此の理は自動車の出現に依り不良なる道路上に應急的處置を施し、假橋を架設して自動車を使用する企業者を見るに至つた一般の認識を高め、昭和三年頃より奉仕に依る道路新設作業を旺盛に導くに至つた。此の狀況を道路の面積に依つて見るに、大正六年から昭和二年迄の十箇年間に於ける全島の一箇年平均增加面積は百九十六萬五千餘平方米であつたが、昭和三年以後昭和十三年迄の十一箇年間に於ける一箇年平均增加面積は約四百二十萬九千平方米と著增を示してゐる。

奉仕に依る道路新設作業の旺盛となるに伴つて特に地方費の道路投資は急激に增加するを要することは盡し當然の結果であるが、之に對しては昭和五年度より州費に對する國庫補助の制を創始され、斯くして本島道路の自動車交通に適する幅員を有するものは俄かに普及するに至つたが何分臺灣は地形山地に富み河川の亂流亦甚しいので、道路事業の遂行には特に多額の經費を要するに、淸領時代に殊更道路施設を忌避した政策に禍されて、從來は道路普及の爲にする道路橋梁其の他の構造物の新設に急であつたが爲、其の改築改良工事は甚しく遲れ、改隷以後臺灣の道路に對し投ぜられた國費及地方費の總額は七千五十餘萬圓に達するが、尙主要地間に車馬の連絡が出來ないものがあり、交通上重要なる區間と雖概ね路面軟弱で自動車の利用に遺憾なきものは甚

だ僅少なる現狀であつて、今後に於ける臺灣の道路事業は極めて多事である。

第四章　道路の現況

第一節　道路の種類及其の延長

臺灣には市街地道路の警察取締に屬する大正七年府令第十四號街路取締規則の外道路に關する特別の法令が無い。依て道路の種類、等級、管理、國庫と公共團體との費用負擔區分等を定めた法規も無く、自然道路の國有に屬するものは國有財産法に依つて管理し、私有に屬するものは公課を免除して公共の用に供することの義務を負はしめる次第であるが、國家事務取扱の内部的關係に於ては、必要上道路を指定道路と市街庄道との二種に分けて居る。指定道路とは各地方廳に道路臺帳を有し國費又は地方費を以て維持修繕又は改築を爲す道路の總稱であつて、内地の國、府縣道に比すべき重要道路であるが、此の稱呼は明治三十八年一月よりの使用に係るものであつて、當初に在つては總督府に於て一々路線を選び、關係地方廳に對して之を通達するの方法を採つたが、大正十三年四月以降左の條件を具備する路線を指定道路と爲すの方針を示し、地方廳をして總督に稟申し指定道路編入の承認を受けしむることゝして今日に及んで居る。

指定道路々線編入條件

一　臺北市より州廳所在地又は樞要の港津に達する路線
二　主として軍事又は警察上の目的を有する路線
三　州廳所在地より隣接州廳所在地に達する路線
四　州廳所在地より州廳内郡市役所又は支廳所在地達する路線
五　郡市役所又は支廳所在地より隣接郡市役所又は支廳所在地達する路線
六　州廳所在地より州廳内樞要の地、港津又は鐵道停車場に達する路線
七　州廳内樞要の地より之と密接の關係を有する樞要の地、港津又は鐵道停車場に達する路線
八　州廳内樞要の港津より之と密接に關係を有する樞要の地又は鐵道停車場に達する路線
九　州廳内樞要の鐵道停車場より之と密接の關係を有する樞要の地又は港津に達する路線
一〇　數市街庄を連絡する重要なる幹線にして其の沿線地方と密接の關係を有する樞要の地、港津又は鐵道停車場に達する路線
一一　樞要の港津又は鐵道停車場より之と密接の關係を有する指定道路と連絡する路線
一二　地方開發の爲め必要にして將來前各號の一に該當すべき路線

市街庄道とは指定道路以外の公認道路の總稱であつて其の道路費は市街庄費又は地方民の負擔する所であるが、其の新設又は改築に對しては市道に在つては國費及州費、街庄道に在つては州費の補助をなすことを妨げない制を採つて來た。昭和十四年末に於ける指定道路及市街庄道の各地

方別延長を示せば左の如くである。

州及廳	指定道路 縱貫道路	指定道路 指定道路	指定道路 計	市街庄道	合計
臺北州	四四・三八七・八 粁米	六二一・九七七・八 粁米	六六六・三六五・六 粁米	二、〇八二・七七三・〇 粁米	二、七四九・一三八・六 粁米
新竹州	一二七・五二〇・八	五〇八・一三五・六	六三五・六五六・四	二、九八九・三三九・九	三、六二四・九九六・三
臺中州	一〇八・七六二・三	三九二・二四五・四	五〇一・〇〇七・七	二、三三七・五五二・八	二、八三八・五六〇・五
臺南州	一一九・〇六八・四	五一〇・八六二・一	六二九・九三〇・五	四、七七六・〇七五・六	五、四〇六・〇〇六・一
高雄州	六一・六四五・〇	五六九・七六五・九	六三一・四一〇・九	一、三七四・八六二・八	二、〇〇六・二七三・七
臺東廳	—	三三九・九五九・五	三二九・九五九・五	七九・三八二・八	四〇九・三四二・三
花蓮港廳	—	二八一・三九七・四	二八一・三九七・四	一七三・七三五・〇	四五五・一二二・四
澎湖廳	—	一四・〇一四・四	一四・〇一四・四	一八〇・九三六・八	一九四・九五一・二
計	四六一・三八四・三	三、二二八・三五八・一	三、六八九・七四二・四	一三、八三五・八八三・一	一七、五二五・六二五・五

尚右指定道路の面積一平方粁當延長及一粁當人口を示せば左表の如くである。

指定道路の面積一平方粁當延長

州及廳	指定道路ノ延長	蕃地ヲ除キタル面積ニ對スル一平方粁當延長 面積	蕃地ヲ除キタル面積ニ對スル一平方粁當延長 一平方粁當指定道路延長	總面積ニ對スル一平方粁當延長 面積	總面積ニ對スル一平方粁當延長 一平方粁當指定道路延長
臺北州	六六六・三六五・六 粁米	二、八七四・九一〇三 平方粁	二四九・一一六 米	四、五九四・二三七一 平方粁	一四五・〇四三 米
新竹州	六三五・六五六・四	二、七四一・一四四一	二三一・八九五	四、五七〇・〇一四六	一三九・〇九三
臺中州	五〇一・〇〇七・七	三、五九六・九五四〇	一三九・二八六	七、三八二・九四二六	六七・八六〇
臺南州	六二九・九三〇・五	四、九九三・六一五六	一二六・一四七	五、四二一・四六二七	一一六・一九一
高雄州	六三一・四一〇・九	二、八六二・七六二八	二二〇・五五九	五、七二一・八六七二	一一〇・三五〇
臺東廳	三二九・九五九・五	一、二七二・六八七八	二五九・二六一	三、五一五・二五二八	九三・八六七
花蓮港廳	二八一・三九七・四	一、三三六・〇四一二	二一〇・六三〇	四、六二八・五七一三	六〇・七九四
澎湖廳	一四・〇一四・四	一二六・八六四二	一一〇・四六七	一二六・八六四二	一一〇・四六八
計	三、六八九・七四二・四	一九、八〇四・九八〇〇	一八六・三〇三	三五、九六一・二一二五	一〇二・六〇三

指定道路一粁當人口

州及廳	指定道路ノ延長	總人口	指定道路一粁當人口
臺北州	六六六・三六五・六 粁米	一、一二四、七二一 人	一、六八七 人
新竹州	六三五・六五六・四	七八一、〇七五	一、二二八
臺中州	五〇一・〇〇七・七	一、二八一、八一六	二、五六〇
臺南州	六二九・九三〇・五	一、四五六、八一八	二、三一三
高雄州	六三一・四一〇・九	八二一、七五三	一、三〇一
臺東廳	三二九・九五九・五	八一、八四〇	二四七
花蓮港廳	二八一・三九七・四	一二九、七二八	四〇一
澎湖廳	一四・〇一四・四	六九、二〇八	四、九三八
計	三、六八九・七四二・四	五、七四六、九五九	一、五五七

第二節　指定道路の路線

一　縦貫道路

路線名	起点	終点	経過地		
			郡市	街庄	
縦貫道路内譯	臺北州基隆市（日新橋）	高雄州屏東市屏東（屏東郡役所前）	基隆郡	七堵庄	
			七星郡	汐止街、內湖庄	
			臺北市		
			新莊郡	鷺洲庄、新莊街	
			桃園郡	龜山庄、桃園街	
			中壢郡	中壢街、平鎭庄、楊梅庄	
			新竹郡	湖口庄、舊港庄、六家庄	
			新竹市		
			新竹郡	香山庄	
			竹南郡	竹南街、頭分街、造橋庄、後龍庄	
			苗栗郡	四湖庄	
			竹南郡	後龍庄	
			苗栗郡	通宵庄、苑裡庄	

臺中州	大甲郡	大甲街、清水街、沙鹿街	
	豐原郡	神岡庄、豐原街、潭子庄	
	大屯郡	北屯庄	
	臺中市		
	大屯郡	烏日庄	
	彰化市		
	彰化郡	花壇庄	
	員林郡	大村庄、員林街、坡心庄、永靖庄	
	北斗郡	田尾庄、北斗街、溪州街、埤頭庄	
臺南州	虎尾郡	西螺街	
	斗六郡	莿桐庄	
	虎尾郡	虎尾街	
	斗六郡	斗南街、大埤庄	
	嘉義郡	大林庄、溪口庄、民雄庄	
	嘉義市		
	嘉義郡	水上庄	
	新營郡	後壁庄、新營街、柳營庄	
	曾文郡	六甲庄、官田庄	
	新化郡	善化街、新市庄	
	新豐郡	永康庄	
	臺南市		
	新豐郡	仁德庄	

二　縱貫道路以外の指定道路

臺北州

路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	街庄	大字名
臺北淡水道	三三、六九、二米	臺北市樺山町	淡水郡淡水街淡水新莊淡水道終點（淡水稅關手前）ニ接續	臺北市	北門町、御成町、宮前町、圓山町、大宮町、福德洋、士林、滿雅	
		縱貫道路二八、九七九米八（臺北州廳前）ヨリ分岐		七星郡	士林街	
				淡水郡	北投街	石牌、唭里岸、北投、嘎嘮別
					淡水街	小八里坌子
臺北內湖道	七九五四、六	臺北市宮前町、四一二米七（宮前町警察官吏派出所前十字路）ヨリ分岐	七星郡內湖庄內湖（規頭警察官吏派出所ヨリ約三三〇米先）	臺北市	中庄子、西新庄子、下埤頭、頂東勢、上塔悠	
臺北和尙洲道	三、九七〇、二	新莊郡鷺洲庄、三重埔縱貫道路三三、八二二米九（三重埔警察官吏派出所横一）ヨリ分岐	新莊郡鷺洲庄和尙洲新莊和尙洲道終點（和尙洲廟ノ前）ニ接續			

高雄州					
			岡山郡	湖內庄、路竹庄、岡山街、楠梓庄	
			高雄市		
			鳳山郡	鳳山街、大寮庄、大樹庄	

臺北板橋道	七、七九、二	臺北市文武町	海山郡板橋街板橋	臺北市	書院町、乃木町、若竹町、新起町、新富町、西園町、龍山寺町、緣町、堀江町
		臺北市兒玉町臺北宜蘭道一、五四四米五（軍司令官々邸横）ヨリ分岐	海山郡中和庄漳和海山郡板橋景尾道四、五〇五米四（枋寮警察官吏派出所横）ニ接續	臺北市	
		臺北宜蘭道一二九米	板橋桃園道起點ニ接續	海山郡	板橋街	港子墘、埔墘、下深丘
兒玉町枋寮道	四、二四八、五				
臺北枋寮道	三三、六、三	臺北市西園町臺北板橋道二、七七七米六（綠橋先キ）ヨリ分岐	海山郡板橋街埔墘	臺北市	東園町
			海山郡中和庄漳和	海山郡	中和庄
		臺北板橋道四、七九六米五ヨリ分岐	板橋景尾道四、一三二米二ニ接續	海山郡	永和
埔墘員山道	二、六五四、七				
		新莊郡鷺洲庄溪墘臺北和尙洲道終點ヨリ分岐	海山郡中和庄四十張枋寮土城道二、二三六米三ニ接續	海山郡	中和庄 外員山
臺北八里庄道	三、四九三、二				
		淡水郡八里庄小八里坌新莊淡水道ニ接續	淡水郡八里庄小八里坌新莊淡水道ニ接續	新莊郡	五股庄
				淡水郡	八里庄
臺北三張犁道	四、三六、四	臺北市古亭町臺北宜蘭道一、八三八米二（古亭町警察官吏派出所横）ヨリ分岐	文山郡深坑庄萬順寮臺北宜蘭道一五、〇九〇米九ニ接續	臺北市	成子寮、獅子頭
		臺北市文武町縱貫道路二九、七七五米（東門横）ヨリ分岐	臺北市三張犁水道町松山道三、三〇三米六ニ接續	臺北市	蛇子形
臺北深坑道	二、八五二、七				
			文山郡深坑庄萬順寮	臺北市	旭町、東門町、大安
			臺北宜蘭道一五、〇九〇米九ニ接續	文山郡	錦町、大安、下內埔、六張犁
				深坑庄	坡內坑

臺北宜蘭道	七三・二三〇・三	臺北市文武町 縱貫道路三〇、二三七米八（總督府正門前）ヨリ分岐	宜蘭市宜蘭 宜蘭蘇澳道起點（東通門四ツ辻）ニ接續	臺北市 文山郡	深坑庄 石碇庄 坪林庄 頭圍庄 礁溪庄	南門町、兒玉町、古亭町、水道町、富田町 萬盛、內湖、坡內坑、萬順寮、深坑子、土庫 新興坑、雙溪、員潭子坑、石碇、崩山坑子口、坪林、鰱魚堀、九芎林 二圍 白石脚、礁溪、七結、番割田、柴圍、四結、大坡、二結 一結
水道町松山道	五・五一四・五	臺北市水道町 臺北宜蘭道三、八五四米三（臺北水道水源地前）ヨリ分岐	七星郡松山庄舊里族 縱貫道路二三、八三七米八ニ接續	臺北市 七星郡	松山庄	富田町、下內埔、六張犁 三張犁、興雅
景尾龜山道	一三・四一四・五	文山郡深坑庄萬盛 臺北宜蘭道六、九一四米五留（公橋手前）ヨリ分岐	文山郡蕃地ウライ（ウライ社入口）	文山郡	新店庄 蕃地	大坪林、青潭、直潭、龜山 タンヒヤ
板橋景尾道	八・八四八・四	海山郡板橋街下深丘 臺北板橋道六、八四九米一ヨリ分岐	文山郡新店庄大坪林 景尾龜山道起點（留公橋手前）ニ接續	海山郡	板橋街 中和庄	後埔 員山子、外員山、永和、漳和、南勢角、秀朗
枋寮土城道	六・九七九・一	海山郡中和庄漳和 板橋景尾道四、〇〇〇米（漳和字枋寮）ヨリ分岐	海山郡土城庄員林 板橋桃園道四、三二〇米ニ接續	海山郡	中和庄 土城庄	四十張 廷寮坑、清水坑、柑林埤
板橋桃園道	二一・三八一・五	海山郡板橋街板橋 臺北板橋道終點ヨリ分岐	海山郡鶯歌街大湖 桃園尖山道終點ニ接續	海山郡 桃園郡	板橋街 土城庄 三峽街 鶯歌街 八塊庄	後埔、四汴頭 員林、大安寮、頂埔、媽祖田 挖子、橫溪、礁溪、三峽、公館後 南靖厝、尖山、大湖 大湳

板橋鶯歌道	一四・一一三・八	海山郡板橋街後埔 桃園板橋道三八〇米ヨリ分岐）	海山郡鶯歌街鶯歌 鶯歌停車場道九一〇米ニ接續	海山郡	板橋街 鶯歌街	後埔、湳子、番子園、沙崙、溪州 樹林、坡內坑、山子脚、石灰坑 阿南坑、鶯歌、尖山
新莊板橋道	三・七二六・七	新莊郡新莊街頭前 縱貫道路三九、一九七米八ヨリ分岐	海山郡板橋街板橋（東門橋）	海山郡	板橋街	新埔、社後
新莊樹林道	六・一〇〇・〇	新莊郡新莊街新莊 新莊淡水道三四五米五ヨリ分岐	海山郡鶯歌街潭底（樹林停車場）	新莊郡 海山郡	新莊街 鶯歌街	海山頭、營盤、柏子林、西盛 圳岸脚、潭底
新莊和尚洲道	四・八八二・七	新莊郡新莊街頭前 縱貫道路三八、六〇七米八ヨリ分岐	新莊郡鷺洲庄和尚洲 溪墘 臺北和尚洲道終點（和尚洲廟ノ前）ニ接續	新莊郡	五股庄	更寮
新莊淡水道	二三・七六七・一	新莊郡新莊街新莊 新莊板橋道八〇九米一（新莊街役場隣廟前）ヨリ分岐	淡水郡淡水街淡水 臺北淡水道終點（淡水稅關手前）ニ接續	新莊郡 淡水郡	新莊街 林口庄 八里庄 淡水街	中港厝、頂田心子、山脚、大窠坑 菁埔、大平嶺 下罟子、小八里坌、大八里坌 油車口
淡水金山道	三七・四八五・四	淡水郡淡水街淡水 臺北淡水道二二、三二三米ヨリ分岐	基隆郡金山庄下中股 基隆金山道終點（金山警察分室前）ニ接續	淡水郡 基隆郡	淡水街 三芝庄 石門庄 金山庄	水碓子、林子、下圭柔山、興化店、灰磘子、大屯 後厝、錫板、舊小基隆、新小基隆 頭圍、老梅、石門、下角 中角
北投草山道	一二・〇二四・六	七星郡北投街北投 臺北淡水道一一、一七二米七（沼瀨橋先キ）ヨリ分岐	七星郡土林街草山 土林金山道八、五六三米六ニ接續	七星郡	北投街	頂北投

士林金山道	二六・二七〇・〇	七星郡士林街士林臺北淡水道五、二五六米四（士林街役場前）ヨリ分岐	基隆郡金山庄下中股淡水金山道三七、一四四米二ニ接續	七星郡 基隆郡	士林街 金山庄	福德洋、林子口、石角、永福、公館地、草山、七股頂中股
基隆金山道	二一・一二・七	基隆市明治町（蚵殼港橋手前）	基隆郡金山庄下中股淡水金山道終點（金山警察分室前）ニ接續	基隆市 基隆郡	萬里庄	西町、大武崙 中萬里加投、下萬里加投
基隆社寮島道	四・〇六〇・〇	基隆市元町縱貫道路及基隆礁溪道起點（日新橋手前）ヨリ分岐	基隆市社寮町	基隆市		日新町、入船町、眞砂町
基隆礁溪道	六二・四三五・五	基隆市元町縱貫道路及基隆社寮島道起點（日新橋手前）ヨリ分岐	宜蘭郡礁溪庄礁溪臺北宜蘭道六五、二二五米五ニ接續	基隆市 基隆郡 宜蘭郡	瑞芳街 雙溪庄 貢寮庄 頭圍庄 礁溪庄	玉田町、双葉町、天神町、田寮町、東町、曙町、深澳坑 龍潭堵、柑子瀨、九芎橋、猴硐 石壁坑、武丹坑、雙溪、魚行 長潭、貢寮、下雙溪、遠望坑 大里簡、大溪、梗枋、港澳、拔雅林、頭圍、新興、下埔、中崙、二圍 白石脚、湯圍
宜蘭蘇澳道	二三・六一三・〇	宜蘭郡宜蘭市宜蘭臺北宜蘭道終點（東門四ツ角）ヨリ分岐	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳（蘇澳海岸）	宜蘭市 羅東郡 蘇澳郡	五結庄 羅東街 冬山庄 蘇澳庄	壯一、壯二、四圍 二結、四結 竹林、羅東、十六分 九分、打那美、珍珠里簡、大和、冬山、委員宅、阿兼城 新城、糞箕湖
羅東利澤簡道	五・七二六・九	羅東郡羅東街羅東宜蘭蘇澳道九、三九〇米九ヨリ分岐	羅東郡五結庄利澤簡（利澤簡市場前）	羅東郡	羅東街 五結庄	十八埒、打那岸 鏽橄社

蘇澳南方澳道	一・七〇五・四	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳蘇澳花蓮港道七六三米六ヨリ分岐	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳（南方澳漁港）			
蘇澳北方澳道	四・四一八・二	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳宜蘭蘇澳道二三、四七五米五ヨリ分岐	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳（北方澳警察官吏派出所前）			
羅東三星道	一三・一七八・〇	羅東郡羅東街羅東宜蘭蘇澳道九、三九〇米二ヨリ分岐	羅東郡三星庄三星宜蘭桃園道起點（三星字月眉）ニ接續	羅東郡	羅東街 冬山庄 三星庄	阿里史 廣興 阿里史
宜蘭桃園道	四一・六〇一・九	羅東郡三星庄三星羅東三星道起點（三星字月眉）ヨリ分岐	羅東郡蕃地角板山一稜道終點（新竹州界）ニ接續	羅東郡	蕃地	ボンボン社、池ノ端
羅東淸水道	七・〇七〇・〇	羅東郡羅東街竹林宜蘭蘇澳道九、〇四三米六ヨリ分岐	羅東郡五結庄一百甲（輕鐵海岸發着所前）	羅東郡	五結庄	頂五結、下五結、中一結、中二結、四百名
二結鏽橄社道	五・八七〇・〇	羅東郡五結庄二結宜蘭蘇澳道五、七二五米四ヨリ分岐	羅東郡五結庄鏽橄社羅東利澤簡道三、一六三米六ニ接續	羅東郡	五結庄	頂三結、下三結、下五結、頂五結、大埔
宜蘭東港道	九・二三二・七	宜蘭市宜蘭臺北宜蘭道七三、一〇三米ヨリ分岐	宜蘭郡壯圍庄廊後（廊後字東港）	宜蘭市 宜蘭郡	壯圍庄	壯一、壯二、壯四 壯五、新興、霧罕
宜蘭三圍道	五・三一〇・九	宜蘭市宜蘭臺北宜蘭道終點及宜蘭蘇澳道起點（東門四ツ角）ヨリ分岐	宜蘭郡員山庄三圍	宜蘭市 宜蘭郡	員山庄	金六結 外員山、內員山
宜蘭三星道	一〇・六〇七・四	宜蘭郡員山庄三圍宜蘭三圍道終點ヨリ分岐	羅東郡三星庄三星、警察課三星分室前	宜蘭郡 羅東郡	員山庄 三星庄	深溝 再連、粗坑、八玉園、二萬五

路線名	延長	起點	終點	經過地	
				郡市	街庄
南港停車場道	一、二九一米	七星郡內湖庄南港三重埔縱貫道路一九、〇六七米八ヨリ分岐	七星郡內湖庄南港三重埔（南港停車場前）	七星郡	南港、三重埔
板橋停車場道	一、七〇〇米	海山郡板橋街板橋（東門橋）	海山郡板橋街後埔（板橋停車場前）	海山郡	板橋
鶯歌停車場道	五、〇五四米	海山郡鶯歌街尖山板橋桃園道一七、二四八米一ヨリ分岐	海山郡鶯歌街鶯歌（鶯歌停車場前）	海山郡	鶯歌
士林停車場道	八三、〇米	七星郡士林街士林臺北淡水道五、四四九米一ヨリ分岐	七星郡士林街士林（士林停車場前）	七星郡	士林
關渡停車場道	七〇九、一米	七星郡北投街嘎嘮別臺北淡水道一三、〇六九米ヨリ分岐	七星郡北投街嘎嘮別（關渡停車場前）	七星郡	北投
蘇澳花蓮港道	六二、八〇四、〇米	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳（白米橋右岸）	蘇澳郡蘇澳庄蘇澳花蓮港蘇澳道終點ニ接續（大濁水溪右岸）	蘇澳郡	蘇澳、ルキヨフ蕃地
北投溫泉道	二、九三五、五米	七星郡北投街北投（北投停車場前）	七星郡北投街北投北投草山道一、九三三米ニ接續	七星郡	北投
哪里岸停車場道	五六一、八米	七星郡北投街石牌臺北淡水道一、八四四米二ヨリ分岐	七星郡北投街石牌（哪里岸停車場前）	七星郡	北投
松山停車場道	六〇、〇米	臺北市松山縱貫道路二二、九八三米八ヨリ分岐	臺北市松山（松山停車場前）	臺北市	松山

路線名	延長	起點	終點	經過地	
				郡市	街庄
汐止停車場道	二六八米	七星郡汐止街汐止縱貫道路一三、四九〇米ヨリ分岐	七星郡汐止街汐止（汐止停車場前）	七星郡	汐止
七堵停車場道	九八二米	基隆郡七堵庄七堵縱貫道路五、四五〇米ヨリ分岐	基隆郡七堵庄七堵（七堵停車場前）	基隆郡	七堵
桃園竹圍道	一五、七六三、七米	桃園郡桃園街桃園縱貫道路一〇、九八五米ヨリ分岐	桃園郡大園庄竹圍大園道一、〇三七米三ニ接續	桃園郡	桃園街、竹圍
桃園大園道	一四、二九〇、九米	桃園郡桃園街桃園縱貫道路一、三四〇米ヨリ分岐	桃園郡大園庄大園竹圍大園道終點ニ接續	桃園郡	桃園街、蘆竹庄、大園庄
大園觀音道	二、三二、八米	桃園郡大園庄大園桃園大園道一四、一九七米三ヨリ分岐	中壢郡觀音庄坡寮中壢觀音道一五、五九二米七ニ接續	桃園郡 中壢郡	大園庄 觀音庄
竹圍大園道	七四五四、五米	桃園郡大園庄竹圍（南崁溪左岸）	桃園郡大園庄大園桃園大園道終點ニ接續	桃園郡	大園庄
中壢觀音道	一六、八三六、四米	中壢郡中壢街三座屋縱貫道路二二、〇二五米ヨリ分岐	中壢郡觀音庄觀音（觀音警察官吏派出所前）	中壢郡	中壢街 觀音庄

楊梅崁頭厝道	一七、三六〇	中壢郡楊梅庄楊梅（楊梅停車場前）	中壢郡新屋庄崁頭厝	中壢郡 楊梅庄 新屋庄
老飯店三角堀道	九、八三五、五	中壢郡楊梅庄上陰影窩楊梅崁頭厝道三、八九六米三ヨリ分岐	中壢郡楊梅庄大坡	中壢郡 楊梅庄 新屋庄
桃園尖山道	二、三九〇、九	桃園郡桃園街桃園縦貫道路一〇、八四二米ヨリ分岐	桃園郡桃園街大樹林板橋桃園道終點（臺北州界）ニ採續	
桃園大溪道	一四、二九四、〇	桃園郡桃園街桃園	大溪郡大溪街大溪（大溪郡役所正門前街通リ）ニ接續	桃園郡 桃園街 八塊庄 大溪街
大溪角板山道	三三、二九六、四	大溪郡大溪街大溪桃園大溪道終點（大溪郡役所正門前街通リ）ヨリ分岐	大溪郡番地角板山角板山一稜道起點ニ接續	大溪郡 大溪街 蕃地
角板山一稜道	四四、六二九、一	大溪郡蕃地角板山大溪角板山道終點ヨリ分岐	大溪郡蕃地宜蘭桃園道終點（臺北州界）ニ接續	大溪郡 蕃地
カウイラン、トンフノシロワン道	二六、九四五、五	大溪郡蕃地ソロ社角板山一稜道二七、七三八米二ヨリ分岐	大溪郡蕃地トンノフシロワン	大溪郡 蕃地
龍潭大溪道	八、四九四、五	大溪郡龍潭庄龍潭中壢龍潭道一〇、〇五九米一ヨリ分岐	大溪郡番地宜蘭桃園道終點（臺北州界）ニ接續	大溪郡 龍潭庄 中壢郡 平鎮庄 大溪郡 龍潭庄

中壢龍潭道	二〇、四六七、三	中壢郡中壢街興南縦貫道路二二、四四五米一二接續	大溪郡龍潭庄四方林平鎮關西道六、八七六米三二接續	中壢郡 平鎮庄 大溪郡 龍潭庄
平鎮關西道	二七、八三一、八	中壢郡楊梅庄草湳坡縦貫道路二七、八〇五米（平鎮停車場前中心）ヨリ分岐	新竹郡關西庄關西（關西警察分室横十字路）	中壢郡 平鎮庄 大溪郡 龍潭庄 新竹郡 關西庄
關西石門道	六、六〇四、五	新竹郡關西庄關西平鎮關西道一七、五四六米四ヨリ分岐	新竹郡關西庄關西平鎮關西道一七、五四六米二接續	新竹郡 關西庄
新社關西道	一九、六四七、七	新竹郡舊港庄新社縦貫道路五三、二三八米ヨリ分岐	新竹郡關西庄關西平鎮關西道一七、五四六米二接續	新竹郡 舊港庄 新埔庄 關西庄
頭重埔芎林道	五、七六三、六	竹東郡竹東街頭重埔新竹竹東道六、八一八米二ヨリ分岐	竹東郡竹東街頭重埔新竹北埔道二〇七米六ヨリ分岐	竹東郡 竹東街 六家庄 芎林庄
新竹竹東道	一四、九六七、三	新竹市新竹北埔道二〇七米六ヨリ分岐	竹東郡竹東街竹東北埔道及竹東内灣道起點（竹東郡役所前）ニ接續	新竹市 竹東郡
竹東內灣道	一一、九三一、八	竹東郡竹東街竹東北埔道起點及新竹東道終點（竹東郡役所前）ヨリ分岐	竹東郡橫山南河	竹東郡 芎林庄 橫山庄
竹東北埔道	七、二六三、六	竹東郡竹東街竹東內灣道起點及新竹竹東道終點ヨリ分岐	竹東郡北埔庄北埔新竹北埔道終點ニ接續	竹東街 上公館 水磜子

竹東上坪道	一〇、九二七三	竹東郡竹東街上公館竹東北埔道六一八米二ヨリ分岐	竹東郡竹東街上坪	竹東街	下公館、上公館、員崠子、燥樹排
上坪弁上道	一八、七六三、〇	竹東郡竹東街上坪竹東上坪道終點ヨリ分岐	竹東郡番地井上溫泉	竹東街	上坪 十八兒、シイガウ、桃山、井上
新城横山道	一〇、五〇〇、九	新竹郡關西庄新城關西石門道三、二五八米ヨリ分岐	竹東郡横山庄十分寮竹東内灣道七、九九五米ニ接續	新竹郡 竹東郡	關西庄 新城 大平地、沙坑
北埔珊珠湖道	一四、八二七五	竹東郡北埔庄北埔竹東北埔道終點ヨリ分岐	竹南郡頭分街珊珠湖頭分南庄道五、三七五米ニ接續	竹東郡	北埔庄 北埔 中興、峨眉、石井、富興
新竹北埔道	一七、六七一、七	新竹市新竹縦貫到路五九、五〇〇米ヨリ分岐	竹東郡北埔庄北埔新竹北埔道終點ニ接續	新竹市 竹東郡	赤土崎、埔頂 雙溪、寶山、大堀
新竹舊港道	五、一〇三、六	新竹市新竹縦貫道路五八、五八五米ヨリ分岐（舊港警察官吏派出所前）	新竹郡舊港庄舊港（舊港警察官吏派出所前）	新竹市 新竹郡	崙子、樹林頭、苦苓脚 槺榔
頭分南庄道	三三、二九八、二	竹南郡頭分街頭分	竹南郡頭分街頭分	竹南郡	頭分街 三灣庄 南庄
頭分中港道	四、〇七六、四	竹南郡頭分街頭分（中港警察官吏派出所前）	竹南郡竹南街中港（中港警察官吏派出所前）	竹南郡 竹南街	田寮 竹南、鹽館前、營盤邊

竹南臺中道	四一、三五〇、六	竹南郡頭分街尖山（下豐原三叉道終點（臺中州界）ニ接續	苗栗郡三叉庄鯉魚潭	竹南郡 苗栗郡	造橋庄 後龍庄	造橋、牛欄湖 新港、二張犁
		縦貫道路八二、一〇〇米ヨリ分岐		苗栗郡	苗栗街 四湖庄 銅鑼庄 三叉庄	田寮、社寮岡、苗栗、南勢坑 五湖 三座厝、銅鑼、樟樹林、竹圍 雙草湖、三叉、拐子湖
田寮後龍道	五、八〇、八	苗栗郡苗栗街田寮竹南臺中道一〇、二三八米七ヨリ分岐	竹南郡後龍庄後龍	苗栗郡	苗栗街 後龍庄	西山、南勢坑 後壠底
苗栗公司寮道	九、〇四一、八	苗栗郡苗栗街苗栗竹南臺中道一五、三七一米四ヨリ分岐	竹南郡後龍庄公司寮	苗栗郡 竹南郡	苗栗街 後龍庄	維祥 五穀岡、蘇齋寮、公館、福基 桂竹林
苗栗大湖道	二〇、二八、三	苗栗郡苗栗街苗栗竹南臺中道一六、二六四米二ヨリ分岐	大湖郡大湖庄大湖	苗栗郡 大湖郡	苗栗街 公館庄 獅潭庄	三座厝 高埔 烏眉坑、內湖、番社
銅鑼通宵道	一四、八四三、六	苗栗郡銅鑼庄銅鑼竹南臺中道二四、二三八米二ヨリ分岐	苗栗郡通宵庄通宵	苗栗郡	銅鑼庄 四湖庄 通宵庄	
紅毛停車場道	二、七三	新竹郡舊港庄豆子埔新社關西道二七、五三六米四ヨリ分岐	新竹郡舊港庄豆子埔（紅毛停車場前）			
香山停車場道	一、六、四	新竹郡香山庄香山縦貫道路六七、〇三八米ヨリ分岐	新竹郡香山庄香山（香山停車場前）			

路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	經過地 街庄	經過地 大字名
竹南停車場道	三、六四〇米	竹南郡竹南街竹南頭分中港道二、七四三米六ヨリ分岐	竹南郡竹南街竹南（竹南停車場前）			
北勢停車場道	一、七三六米	竹南郡後龍庄後龍田寮後龍道三、〇八三米六ヨリ分岐	竹南郡後龍庄二張犁（北勢停車場前）			
造橋停車場道	三〇〇米	竹南郡造橋庄造橋竹南臺中道三、五〇三米六ヨリ分岐	竹南郡造橋庄造橋（造橋停車場前）			
苗栗停車場道	二、五四〇米	苗栗郡苗栗街苗栗竹南臺中道一三、九四〇米九ヨリ分岐	苗栗郡苗栗街苗栗（苗栗停車場前）			
南停車場道	四三六米	苗栗郡苗栗街苗栗竹南臺中道二〇、七四二米四ヨリ分岐	苗栗郡苗栗街苗栗（南勢停車場前）			
銅鑼停車場道	八六八米	苗栗郡銅鑼庄銅鑼竹南臺中道二四、九七六米九ヨリ分岐	苗栗郡銅鑼庄銅鑼（銅鑼停車場前）			
三叉停車場道	五六四米	苗栗郡三叉庄雙草湖竹南臺中道三二、四六六米ヨリ分岐	苗栗郡三叉庄雙草湖（三叉停車場前）			
新竹神社道	七六二六米	新竹郡香山庄牛埔縱貫道路六〇、八〇〇米ヨリ分岐	新竹郡香山庄牛埔			
桃園停車場道	三一七米	桃園郡桃園街桃園縱貫道路一一、二一〇〇米ヨリ分岐	桃園郡桃園街桃園（桃園停車場前）			

路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	經過地 街庄	經過地 大字名
中壢停車場道	五三一米	中壢郡中壢街興南縱貫道路二、〇二五米ヨリ分岐	中壢郡中壢街石頭（中壢停車場前）			
楊梅停車場道	二八七三米	中壢郡楊梅庄楊梅縱貫道路二、三三五〇米ヨリ分岐	中壢郡楊梅庄楊梅（楊梅停車場前）			
湖口停車場道	三、〇五三六米	新竹郡湖口庄湖口縱貫道路四二、三〇四米ヨリ分岐	新竹郡湖口庄上北勢（湖口停車場前）			
后里大甲道	粁 一一、〇九四米	豐原郡內埔庄后里豐原三叉道六、五八二米ヨリ分岐	大甲郡大甲街大甲	豐原郡 大甲郡	內埔庄 外埔庄 六分、磁磘、大甲東 大甲街 山腳	屯子脚、月眉
豐原三叉道	二、三四五米	豐原郡豐原街豐原豐原東勢道一〇四米四ヨリ分岐	豐原郡內埔庄新店（新竹州界）	豐原郡	豐原街 內埔庄	大滿 屯子脚、后里、中社
豐原東勢道	一三、三〇二五米	豐原郡豐原街豐原縱貫道路四二、七八六米ヨリ分岐	東勢郡東勢街東勢（東勢郡役所前）	豐原郡 東勢郡	豐原街 石岡庄	翁子、朴子口 石岡、社寮角、土牛
公館清水道	五、六〇二二米	大甲郡沙鹿街公館縱貫道路三二、一六二米ヨリ分岐	大甲郡清水街清水	大甲郡	沙鹿街	西勢寮

沙鹿梧棲道	三・八五二・七	大甲郡沙鹿街沙鹿縱貫道路二四、二六一米ヨリ分岐	大甲郡梧棲街梧棲（梧棲警察官吏派出所前）	大甲郡	梧棲街	大庄、南簡
沙鹿塗葛堀道	七・一六七・二	大甲郡沙鹿街沙鹿大肚沙鹿道九、八三六米四ヨリ分岐	大甲郡龍井庄塗葛堀	大甲郡	梧棲街 龍井庄	大庄、鴨母寮 三塊厝
大肚沙鹿道	九・九二九・一	大甲郡大肚庄大肚王田塗葛堀道六、五三三米ヨリ分岐	大甲郡沙鹿街沙鹿	大甲郡	大肚庄 龍井庄 沙鹿街	汴子頭 龍井、龍目井、山脚 南勢坑、北勢坑
王田塗葛堀道	一三・五九七・八	大甲郡大肚庄王田縱貫道路六八、〇一〇米ヨリ分岐	大甲郡龍井庄塗葛堀（塗葛堀警察官吏派出所前）	大甲郡	大肚庄 龍井庄	社脚、大肚、汴子頭 龍井、福頭崙
臺中南屯道	二・九七八・一	臺中市公館縱貫道路五七、二七〇米ヨリ分岐	大屯郡南屯庄南屯（犁頭店橋西詰）	臺中市 大屯郡	南屯庄	半平厝 土庫、田心
臺中沙鹿道	一七・六六四・四	臺中市新富町縱貫道路五五、六九〇米ヨリ分岐	大甲郡沙鹿街沙鹿縱貫道路二四、四七〇米ニ接續	臺中市 大屯郡 大甲郡	北屯庄 西屯庄 沙鹿街	柳町、初音町、若松町、梅ヶ谷町、後壠子 乾溝子 何厝、惠來厝、上石埤、西屯、水堀頭、南勢坑、北勢坑
臺中公館道	一四・四八六・四	臺中市新高町縱貫道路五五、二〇〇米ヨリ分岐	大甲郡沙鹿街公館縱貫道路三二、一六二米ニ接續	臺中市 大屯郡 豐原郡	北屯庄 西屯庄 大雅庄	梅ヶ谷町 邱厝子、賴厝廊、水湳、陳平、後庄子 上牛埔子、港尾子、八張犁 四塊厝、大雅、下員林、六張犁、埔子墘

臺中南投道	二八・六二〇・九	臺中市村上町縱貫道路五六、〇二五米ヨリ分岐	南投郡南投街南投（南投郡役所前）	臺中市 大屯郡 南投郡	大里庄 露峰庄 草屯街 南投街	利國町、錦町、幸町、寶町、明治町、大正町、千歲町、榮町、壽町、綠川町、橋町、敷島町、楠町、木下町、花園町、有明町、曙町、頂橋子頭 內新、大突寮、草湖 霧峰、萬斗六 牛屎崎、草屯、山脚 營盤口、牛山、半運堀
彰化和美道	五・七六七・三	彰化市彰化	彰化郡和美庄和美（和美警察官吏派出所前）	彰化市 彰化郡	和美庄	南廊 新庄子、嘉犁、柑子井
彰化鹿港道	一三・四九六・五	彰化市彰化	彰化郡鹿港街鹿港（水上警察官吏派出所前）	彰化市 彰化郡	秀水庄 福興庄 鹿港街 福興庄	南廊、西門口、莿桐脚 馬鳴山 大崙 打鐵厝 橋頭
員林鹿港道	二一・六三〇・〇	員林郡員林街員林縱貫道路八八、七五一米ヨリ分岐	彰化郡鹿港街鹿港彰化鹿港道一二、二一八米二ニ接續	員林郡 彰化郡	員林街 坡心庄 溪湖街 埔鹽庄 福興庄	南平 瓦磻厝、坡心、舊館、羅厝 四塊厝、溪湖、頂寮 崙子脚、埔鹽、南勢埔、瓦磻、牛埔厝 菜園角

員林林內道	二三、九六七、五	員林郡員林街員林縱貫道路八七、七五〇米ヨリ分岐	員林郡	員林街	大饒
		（臺南州界）		社頭庄	枋橋頭、社頭、崙雅
				田中街	卓乃潭、田中
				二水庄	十五、二水、大丘園
田中北斗道	六、五八一、八	員林郡田中街田中員林林內道一一、六一八米三ヨリ分岐	員林郡	田中街	大新、外三塊厝
		北斗郡北斗街西北斗（北斗郡役所前）	北斗郡	北斗街	東北斗
北斗沙山道	三、八八五、四	北斗郡北斗街西北斗（沙山警察官吏派出所前）	北斗郡	北斗街	北勢寮
				埤頭庄	埤頭、小埔心、崙子
				二林街	礪碭、丈八斗、後厝、二林
				沙山庄	後寮、頂廍子
草屯埔里道	四二、七五八、〇	南投郡草屯街草屯臺中南投道一九、〇七四米五ヨリ分岐	南投郡	草屯街	鉤子寮、南埔、雙多
			能高郡	國姓庄	龜子頭、柑子林、北山坑
		能高郡埔里街埔里		埔里街	牛相觸、烏牛欄
南投埔里道	六七、八九九、〇	南投郡南投街南投（南投郡役所前）	南投郡	南投街	包尾
				中寮庄	二重溪、中寮、後寮
				新高郡	集集街	集集、柴橋頭、社子
		能高郡埔里街挑米坑		魚池庄	銃櫃、頭社、水社、猫囒、魚池
			能高郡	埔里街	山楂脚、挑米坑
南投竹山道	一九、二六九、六	南投郡南投街南投（南投郡役所前）	南投郡	南投街	茄苳脚
			竹山郡	名間庄	新街、下新厝、名間、濁水
		竹山郡竹山街竹山（竹山郵便局前）		竹山街	社寮、江西林、埔心子

二水集集道	二〇、七七〇、九	員林郡二水庄二水員林林內道一八、三六二米九ヨリ分岐	員林郡	二水庄	大丘園、鼻子頭
		新高郡集集街集集	南投郡	名間庄	炭寮、名間、濁水
			新高郡	集集街	隘寮、林尾
竹山林內道	三、五三七、三	竹山郡竹山街竹山（竹山郵便局前）	竹山郡	竹山街	竹圍子
		竹山郡竹山街下崁（臺南州界）			
后里停車場道	一〇四九、一	豐原郡內埔庄后里豐原三叉道六、五八一米八ヨリ分岐	豐原郡	內埔庄	后里停車場前
王田停車場道	一四五、三	大屯郡烏日庄勝腈縱貫道路六七、〇六五米ヨリ分岐	大屯郡	烏日庄	勝腈（王田停車場前）
烏日停車場道	二一七、三	大屯郡烏日庄烏日縱貫道路六三、三八五米ヨリ分岐	大屯郡	烏日庄	烏日（烏日停車場前）
潭子停車場道	七三八、三	豐原郡潭子庄潭子縱貫道路四六、八九六米ヨリ分岐	豐原郡	潭子庄	潭子（潭子停車場前）
豐原停車場道	三三六、四	豐原郡豐原街豐原豐原東勢道六三六米九ヨリ分岐	豐原郡	豐原街	豐原（豐原停車場前）
花壇停車場道	一六五、一	彰化郡花壇庄花壇縱貫道路七九、八七〇米ヨリ分岐	彰化郡	花壇庄	花壇（花壇停車場前）
員林停車場道	五〇、九	員林郡員林街員林縱貫道路八八、二二〇米ヨリ分岐	員林郡	員林街	員林（員林停車場前）

社頭停車場道	七〇九・一	員林郡社頭庄社頭員林林内道七、三七八米三ヨリ分岐	員林郡社頭庄社頭（社頭停車場前）		
田中停車場道	四七二・七	員林郡田中街田中員林林内道一一、八九五米一ヨリ分岐	員林郡田中街田中（田中停車場前）		
二水停車場道	二〇六・四	員林郡二水庄二水員林林内道一七、九五六米ヨリ分岐	員林郡二水水庄二水（二水停車場前）		
大肚停車場道	一七〇・二	大甲郡大肚庄大肚大肚沙鹿道六〇九米六ヨリ分岐	大甲郡大肚庄大肚（大肚停車場前）		
龍井停車場道	三二六・五	大甲郡龍井庄龍目井大肚沙鹿道五、三五五米八ヨリ分岐	大甲郡龍井庄龍目井（龍井停車場前）		
沙鹿停車場道	二九六・〇	大甲郡沙鹿街沙鹿臺中沙鹿道一七、四四七米一ヨリ分岐	大甲郡沙鹿街沙鹿（沙鹿停車場前）		
清水停車場道	三五八・七	大甲郡清水街清水縱貫道路二一、三八一米ヨリ分岐	大甲郡清水街清水（清水停車場前）		
追分停車場道	四五・一	大甲郡大肚庄王田王田塗葛堀道一、五一七米八ヨリ分岐	大甲郡大肚庄王田（追分停車場前）		

臺南州

路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	街庄	大字名
西螺崙背道	一二・一二一・八米	虎尾郡西螺街西螺縱貫道路一、五一一米ヨリ分岐	虎尾郡崙背庄崙背北崙背港道終點ニ接續（崙背警察官吏派出所前）	虎尾郡	西螺街 二崙庄 崙背庄	埔心、社口 二崙、惠來厝 羅厝
北港崙背道	二一・八七二・七	北港郡北港街新街斗南北港道二三、九二九米一ヨリ分岐（北港警察官吏派出所前）	虎尾郡崙背庄崙背西螺崙背道終點ニ接續（崙背警察官吏派出所前）	北港郡 虎尾郡	元長庄 土庫庄	龍岩厝、元長、山子內 埔姜崙、潮洋厝、新庄子
斗南北港道	三〇・七〇〇・九	斗六郡斗南街斗南縱貫道路一八、〇一一米ヨリ分岐	北港郡北港街北港民雄北港道一四、一六六米四ニ接續	斗六郡 虎尾郡 北港郡	斗南街 虎尾街 土庫庄 元長庄 北港街	五間厝、大東 蕃薯、虎尾、湳子 過溝、土庫、新興、糞箕湖 客子厝、下寮 後溝子、新街
莿桐斗六道	六九・二二四・五	斗六郡莿桐庄莿桐縱貫道路八、三八三米ヨリ分岐	斗六郡斗六街斗六斗六林內道ニ接續	斗六郡	莿桐庄 斗六街	大埔尾 保長廊
斗南林內道	一七・六三七・三	斗六郡斗南街斗南（斗南警察官吏派出所前）	斗六郡斗六街林內林內停車場起點ニ接續	斗六郡	斗南街 斗六街	新庄 九老爺、保長廊、大潭、斗六、海豐崙、石榴班、九芎林
林內竹山道	四・七八四・五	斗六郡斗六街林內斗南林內道終點ヨリ（林內停車場前）分岐	斗六郡斗六街林內（臺中州界）			

斗六小梅道	一四・九九一八	斗六郡斗六街斗六（斗六郵便局横）	大潭、大崙、溝子埧				
大林小梅道	一一・四九七二	嘉義郡大林庄、大林縦貫道路二六、八〇〇米ヨリ分岐	林子前、大埔美	斗六郡	斗六街	大林庄	嘉義郡小梅庄小梅、大林小梅道一〇、九五四米五ニ接續
民雄北港道	一四・一九七七	嘉義郡民雄庄、民雄縦貫道路三二、四三三米五ヨリ分岐	番子、菁埔	嘉義郡	民雄庄	北港郡北港街北港（中央廟門前）	
北港新港道	一六・一九八二	北港郡北港街北港、民雄北港道一三、七三三米六ヨリ分岐	扶朝家	北港街	土間厝	北港郡湖口庄新港（新港警察官吏派出所前）	
嘉義竹崎道	一二・四一四六	嘉義市檜町縦貫道路四〇、七八二米三ヨリ分岐	山下町、臺斗坑、盧厝	嘉義市	水林庄	北港郡北港街北港、民雄北港道一三、七三三米六ヨリ分岐	
嘉義中埔道	二一・五一〇三	嘉義市元町縦貫道路四二、二二二米ヨリ分岐	灣橋、鹿麻產	嘉義郡	湖口庄	嘉義郡竹崎庄竹崎小梅竹崎道終點ニ接續（竹崎警察官吏派出所前）	
嘉義頂東石道	三〇六二〇〇	嘉義市港子坪縦貫道路四三、四三三米ヨリ分岐	東町、朝日町、堀川町、下路頭下六、頂六、石頭厝、鹽館	嘉義市	中埔庄	嘉義郡中埔庄中埔	
		東石郡東石庄頂東石（東石港）	柴頭港	嘉義市	太保庄	嘉義市東石郡	
			埤麻脚	嘉義郡	水上庄		
			下塗溝、大崙	東石郡	太保庄		
			後潭、太保、崙子頂		朴子街		
			小樓櫥、大樓櫥、朴子、蘆菜埔應		東石庄		
			湖底、港墘、洲子、屯子頭、三塊厝				

嘉義白河道	一五・二四六三	嘉義市榮町嘉義中埔道四一八米二ヨリ分岐	新營				
草店內角道	一〇・六四五	新營郡白河庄馬稠後、嘉義白河道一〇、七六三米八ヨリ分岐	新營郡白河庄白河	嘉義市			
後壁白河道	五八・五八・二	新營郡後壁庄、下茄苳縦貫道路五七、六三三米ヨリ分岐	新營郡白河庄馬稠後（內角）	嘉義郡	水上庄	西門町、新富町、玉川町、車店、下路頭	
白河關子嶺道	一二・三九四六	新營郡白河庄白河（白河警察官吏派出所前）	新營郡白河庄白河	新營郡	白河庄	湖子內、崎子頭、番子寮	
白河前大埔道	一三・四三六三	新營郡白河庄白河、白河關子嶺道三〇四米五ヨリ分岐	新營郡番社庄前大埔（前大埔警察官吏派出所前）	新營郡	番社庄	馬稠後、竹子門、埤子頭、客庄內	
番子田六甲道	七二・四五四	曾文郡官田庄番子田縦貫道路七九、四六二米ヨリ分岐	曾文郡六甲庄六甲番社道起點ニ接續	曾文郡	官田庄	官田、中脇	
六甲番社道	二二・七二一三	曾文郡六甲庄六甲番子田六甲道終點ヨリ分岐	新營郡白河前大埔道三、四五四米五ニ接續	新營郡	六甲庄	烏山頭、七甲	
林鳳營六甲道	三八・八七・七	曾文郡六甲庄林鳳營（林鳳營停車場前）	曾文郡六甲庄六甲番子田六甲道終點ニ接續	新營郡	柳營庄	果毅後、山子脚、大脚腿	
朴子鹽水道	一四・三八〇二	東石郡朴子街朴子、嘉義頂東石道二〇、四三六米四ヨリ分岐	東石郡義竹庄義竹新營布袋道ニ接續	東石郡	朴子街	番社庄	吉貝要
				曾文郡	六甲庄	中社、二甲	
				東石郡	朴子街	下竹園、鴨母寮、吳竹子脚	
					義竹庄	南勢竹、牛挑灣、溪洲、東後寮	
						新店、角帶圍	

新營布袋道	一九・六六二・七	新營郡新營街新營縱貫道路六六、五〇四米ヨリ分岐	東石郡布袋庄布袋（布袋警察官吏派出所前）	新營郡　新營街 鹽水街　岸內 義竹庄　埤子頭、龍蚊潭、後鎭 布袋庄　崩山
北門鹽水道	一三・一六三・四	北門郡學甲庄學甲臺南北門道二五、四九四米三ヨリ分岐	新營郡鹽水街鹽水新營布袋道ニ接續	北門郡　學甲庄　學甲、宅子港、學甲寮 新營郡　鹽水街　飯店、田寮、番子厝、舊營
麻豆番子田道	八・〇九七・六	曾文郡麻豆街麻豆麻豆道佳里起點ヨリ分岐	曾文郡官田庄番子田（番子田停車場前）	曾文郡　麻豆街　溝子墘、寮子廊 官田庄　西庄
麻豆佳里道	八・三七三・三	曾文郡麻豆街麻豆麻豆番子田道起點ヨリ分岐	北門郡佳里街佳里臺南北門道ニ接續	曾文郡　麻豆街　埤頭、麻頭口 北門郡　佳里街　子良廟、新宅
臺南北門道	三三・九四九・二	新豐郡永康庄六甲頂縱貫道路一〇五、八六四米ヨリ分岐	北門郡北門庄北門 新化郡新化街新化北門道終點ニ接續（北門鹽水道起點ニ接續（北門郵便局前）	新豐郡　安順庄　安順、和順寮 新化郡　安定庄　六塊寮、新吉、海寮 北門郡　西港庄　西港、中州、 佳里街　佳里、新宅、佳里興、溪洲 學甲庄　學甲、中州 北門庄　溪底寮
新市新化道	一三・九七一・八	新化郡新市庄新市縱貫道路九六、二五九米四ヨリ分岐	新化郡新化街新化臺南新化道一二、四三八米二ニ接續	新化郡　新市庄　新店 新化街　北勢、嗹口
臺南新化道	一三・七八九・一	臺南市幸町縱貫道路一〇九、三九五米一ヨリ分岐	新化郡新化街西勢（中央研究所糖業科門前	臺南市　永康庄　大正町、清水町、壽町、北門町、 新豐郡　永康、蜈蚣潭、玉田 新化街　洋子、新化

新化玉井道	二四・一九六・四	新化郡新化街新化新市新化道終點ヨリ分岐	新化郡玉井庄玉井（新化郡警察課分室前）	新化郡　新化街　蒜拔林 左鎭庄　石子崎、菜寮、左鎭、內庄子 玉井庄　九層林、芒子芒
關廟旗山道	一七・九〇二・四	新豐郡關廟庄關廟臺南關廟道ヨリ分岐	新豐郡雄州界（旗山關廟道終點ニ接續	新豐郡　關廟庄　新埔 龍崎庄　崎頂、中坑子、番社
新化關廟道	九・〇六〇・〇	新化郡新化街新化臺南新化道一二、四三八米二ヨリ分岐	新豐郡關廟庄關廟（關廟警察官吏派出所前）	新化郡　新化街　知母義、頂山脚 新豐郡　關廟庄　埤子頭、下湖
臺南關廟道	一三・一七二・七	臺南市綠町縱貫道路一〇九、五四六米ヨリ分岐	新豐郡關廟庄關廟新化關廟道終點ニ接續	臺南市　開山町、高砂町、東門町、後甲、虎尾寮 新豐郡　崁脚、仁德、一甲 歸仁庄　歸仁南、八甲、歸仁北
臺南灣裡道	八・六五四・六	臺南市錦町臺南安平道五八一米ヨリ分岐	臺南市灣裡（灣裡警察官吏派出所前）	臺南市　西門町、田町、濱町、鹽埕、下鯤鯓
臺南安平道	五・二〇〇・〇	臺南市錦町縱貫道路一〇九、四八四米ヨリ分岐	臺南市安平（安平稅關出張所前）	臺南市　白金町、西門町、港町、田町、上鯤鯓
小梅竹崎道	八・六一八・三	嘉義郡小梅庄小梅	嘉義郡竹崎庄竹崎嘉義竹崎道終點ニ接續（竹崎警察官吏派出所前）	嘉義郡　小梅庄　九芎坑、大草埔 竹崎庄　沙坑
嘉義北港道	一三・〇九〇・九	嘉義市黑金町縱貫道路四二、九一五米ヨリ分岐	嘉義郡新巷庄新巷民雄北港道ニ接續	嘉義市　竹子脚 東石郡　太保庄　水虞厝、過溝 嘉義郡　新巷庄　月眉潭、菜公厝

朴子北港道	三、三七三、三	東石郡朴子街朴子嘉義頂東石道二六、九八一米八ヨリ分岐	北港郡北港街北港	東石郡	朴子街 六脚庄
竹崎停車場道	四八五、四	嘉義郡竹崎庄竹崎嘉義竹崎道終點ヨリ分岐	嘉義郡竹崎庄竹崎（竹崎停車場前）		
鹿麻產停車場道	五〇五、四	嘉義郡竹崎庄鹿麻產嘉義竹崎道九、四二三米六ヨリ分岐	嘉義郡竹崎庄鹿麻產（鹿麻產停車場前）		
灣橋停車場道	三一八	嘉義郡竹崎庄灣橋嘉義竹崎道五、八二六米三ヨリ分岐	嘉義郡竹崎庄灣橋（灣橋停車場前）		
北門停車場道	一〇九二	嘉義市檜町嘉義竹崎道一〇五米四ヨリ分岐	嘉義市檜町（北門停車場前）		
林內停車場道	二四〇	斗六郡斗六街林內斗南林內道終點ヨリ分岐	斗六郡斗六街林內（林內停車場前）		
斗六停車場道	一五九一	斗六郡斗六街斗六、斗南林內道七、八六九米一ヨリ分岐	斗六郡斗六街斗六（斗六停車場前）		
斗南停車場道	六九五、四	斗六郡斗南街斗南縱貫道路一八、〇一一米二ヨリ分岐	斗六郡斗南街斗南（斗南停車場前）		
大林停車場道	三三、七	嘉義郡大林庄大林大林小梅道七二米七ヨリ分岐	嘉義郡大林庄大林（大林停車場前）		

林鳳營停車場道	一、二三二、六	曾文郡六甲庄林鳳營縱貫道路七二、三七五米ヨリ分岐	曾文郡六甲庄林鳳營（林鳳營停車場前）		
新市停車場道	六〇〇	新化郡新市庄新店縱貫道路九六、二五九米四ヨリ分岐	新化郡新市庄新店（新市停車場前）		
車路墘停車場道	一四四〇〇	新豐郡仁德庄車路墘	新豐郡仁德庄車路墘（車路墘停車場前）		
中州停車場道	五六九、二	新豐郡仁德庄中州	新豐郡仁德庄中州（中州停車場前）		
嘉義神社道	一、四一八、三	嘉義市北門町、嘉義中埔道一、一〇九米ヨリ分岐	嘉義市頂子山（嘉義神社前）	嘉義市	
旗山六龜道	二六、三六、二	旗山郡旗山街旗尾屏東旗山道二三、六六三米七ヨリ分岐	旗山郡六龜庄六龜（六龜警察課分室前）	旗山郡	美濃庄 六龜庄
旗山甲仙道	三五、〇六六、四	旗山郡旗山街旗山（旗山郡役所前）	旗山郡甲仙庄甲仙（甲仙警察官吏派出所前）	旗山郡	旗山街 杉林庄 甲仙庄
路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	經過地 街庄
					大字名

旗山美濃道	五・七三二・六	旗山郡旗山街旗尾（屏東旗山道二四、一三〇米ヨリ分岐）	旗山郡美濃庄美濃（美濃警察官吏派出所前）	旗山郡	旗山街 旗尾 美濃庄 美濃
旗山關廟道	一一・七五九・一	旗山郡旗山街旗山甲仙道ヨリ分岐	旗山郡內門庄中埔（臺南州界）關廟旗山道ニ接續	旗山郡	旗山街 旗山 內門庄 中埔
九曲堂嶺口道	一七・一九二・〇	鳳山郡大樹庄九曲堂九曲堂停車場道ヨリ分岐	旗山郡旗山街嶺口警察官吏派出所前	鳳山郡 旗山郡	大樹庄 無水寮、樣子脚、姑婆寮、溪埔 旗山街 嶺口
岡山彌陀道	二・七二四・五	岡山郡岡山街岡山縱貫道路一五、三六一米ヨリ分岐	岡山郡彌陀庄（彌陀役場前）	岡山郡	岡山街 前峯、後協 彌陀庄 石螺潭
左營彌陀道	二・二七〇・〇	高雄市左營	岡山郡彌陀庄彌陀岡山彌陀道ニ接續	高雄市 岡山郡	右沖 大舍甲、彌陀 彌陀庄
內埔高樹道	三二・五五七・八	潮洲郡內埔庄內埔屏東坊寮道一九、九五八米五ヨリ分岐	屏東郡高樹庄高樹里港六龜道一三、七七米三ニ接續	潮洲郡 屏東郡	內埔庄 新東勢、下浮圳、新隘寮 鹽埔庄 新大路關、舊大路關 高樹庄 加納埔
屏東旗山道	二六・二〇五・五	屏東市屏東縱貫道路終點ヨリ分岐（屏東郡役所前）	旗山旗旗山街旗山（旗山郡役所前）	屏東市 屏東郡 旗山郡	崇蘭 下冷水坑、九塊、後庄 里港庄 里港、三張廊、土庫 美濃庄 吉洋 旗山街 手巾寮、旗尾
里港六龜道	三七・五五〇・九	屏東郡里港庄里港屏東旗山道一一、四三六米二ヨリ分岐	旗山郡六龜庄六龜旗山六龜道二八、二一〇米九ニ接續	屏東郡 高樹庄 六龜庄	里港庄 武洛 高樹庄 田子、埔羌崙、高樹、舊寮 新威、土壠灣

里港嶺口道	四・三七三・三	屏東郡里港庄里港屏東旗山道一一、三四九米ヨリ分岐	旗山郡旗山街磅礴坑字嶺口楠梓旗山道一五、六四七米ニ接續	屏東郡	里港庄 里港、搭樓、三張廊
楠梓旗山道	二九・〇一八・二	岡山郡楠梓庄楠梓縱貫道路二三、六四〇米ヨリ分岐	旗山郡旗山街旗山（旗山郡役所前）	岡山郡 鳳山郡 旗山郡	楠梓庄 仁武庄 大社、保舍甲 面前埔、深水 燕巢庄 旗山街 磅礴坑、溪州、北勢
楠梓鳳山道	二三・八七八・二	岡山郡楠梓庄楠梓縱貫道路二四、二八七米ヨリ分岐	鳳山郡鳳山街鳳山（鳳山郡役所前）	鳳山郡	仁武庄 鳥松、畸子脚 夢裡、鳥松、畸子脚 牛潮埔、赤山、新庄子 竹子門、仁武、灣子內、考潭
壽山山腹道	八〇一・三	高雄市山下町高雄停車場道三九六米七ヨリ分岐	高雄市壽山（壽山館前）	鳳山街	山下町、北野町、鹽埕町、榮町、苓雅寮、過田子、林德官、五塊厝 新庄子
高雄鳳山道	九・六九〇・九	高雄市田町縱貫道路三六、九八五米ヨリ分岐	鳳山郡鳳山街鳳山	高雄市 鳳山郡	灣子頭、過埤子 中大厝、空地子、莿蔥脚、店子後、大人宮、鹽水港
大林蒲東港道	八・六九四・五	鳳山郡小港庄大林蒲鳳山大林蒲道一〇四九〇米九ヨリ分岐	鳳山郡林園庄溪洲鳳山東港道一三、七七六米四ニ接續	鳳山郡	小港庄 林園庄 鳳鼻頭 王公廟、港子埔、林子邊
鳳山大林蒲道	一〇・九八一・八	鳳山郡鳳山街鳳山縱貫道路四六、一一八米五ヨリ分岐	鳳山郡小港庄大林蒲（大林蒲警察官吏派出所前）	鳳山郡	小港庄 林園庄 竹子脚 九曲堂、大樹庄 山子頂、大寮、拷潭、赤崁 潭頭、溪洲 五房洲、烏龍
鳳山東港道	三・九三二・三	鳳山郡鳳山街鳳山縱貫道路四六、四一二米八ヨリ分岐	東港郡東港街東港（中央十字路）	鳳山郡 東港郡	鳳山庄 大樹庄 大寮庄 林園庄 新園庄

山子頂萬丹道	一〇・七九〇・二	鳳山郡大寮庄山子頂（萬丹警察官吏派出所前）東港郡萬丹庄萬丹四米五ヨリ分岐	鳳山郡	大寮庄	大寮、下蚶
屏東東港道	二四・二八五・三	屏東市屏東縦貫道路六一、〇四五米五ヨリ分岐	屏東市	歸來、公館	
		東港郡東港街東港（中央十字路）	東港郡	萬丹庄	社皮、濫庄、萬丹、保長厝、新庄子
		東港郡萬丹庄萬丹屏東東港道九、六五四米五ヨリ分岐		新園庄	瓦磘子、田洋子、仙公廟、新園、烏龍
萬丹潮州道	六・六七二・七	潮州郡潮州街潮州屏東東港道一八、八四米五ヨリ分岐	潮州郡	竹田庄	鳳山厝、薑子墘
東港潮州道	一二・六四〇・〇	東港郡東港街東港屏東東港道二二、〇九三米六ヨリ分岐	東港郡	東港街	內關帝、三西和
				新園庄	過港子、洲子、崁頂
			潮州郡	潮州街	八老爺
屏東枋寮道	三七・三九九・一	屏東市屏東縦貫道路六一、三四九米五ヨリ分岐	屏東市	歸來	
			屏東郡	長興庄	麟洛
		潮州郡枋寮庄水底寮東港恒春道一六、九七二米七ニ接續	潮州郡	新北勢、老東勢、內埔、忠心崙	
				內埔庄	二崙、竹田、溝子墘
				竹田庄	五塊寮、潮州、八老爺、樣子脚
			潮州街	力社	
			東港郡	新園庄	打鐵、南岸、新埤
			潮州郡	新埤庄	武丁潭、昌隆、石光見、佳多
			東港郡	佳多庄	北旗尾
			潮州郡	枋寮庄	

東港恒春道	六八・九七六・五	東港郡東港街東港（中央十字路）	東港郡	東港街	新街、大潭新
		恒春郡恒春街恒春（恒春郡役所前）		林邊庄	磘子口、林邊
				佳多庄	羌園、佳多
			潮州郡	枋寮庄	北旗尾、水底寮、番子崙、枋寮
				枋山庄	加祿堂、平埔、南勢湖、枋山、莿桐脚、楓港
				車城庄	海口、田中央、車城、新街
				恒春街	虎頭山、猫子坑、網紗
恒春臺東道	一八・三七三	恒春郡恒春街恒春（恒春郡役所前）	恒春郡	恒春街	山脚
		恒春郡滿州庄响林（萬里侨警察官吏派出所前）		滿州庄	射麻裡、滿州
車城州界道	三八・三一九・三	恒春郡車城庄車城東港恒春道ヨリ分岐	恒春郡	車城庄	四重溪
		恒春郡蕃地（臺東廳界）楓港臺東道ニ接續		蕃地	牡丹社、ニイナイ社
楓港臺東道	二〇・七五〇	潮州郡枋山庄楓港東港恒春道四三、二八一米ヨリ分岐	潮州郡	蕃地	ポタンロ社、リウパウ社
		潮州郡蕃地（臺東廳界）			
恒春大坂埒道	五・六五八・二	恒春郡恒春街恒春（恒春郡役所前）	恒春郡	恒春街	山脚、鼻子頭
		恒春郡恒春街鵝鑾鼻字大坂埒大坂埒嶐丁道起點ニ接續		恒春街	

大坂埒墾丁道	四・九一八・二	恒春郡恒春街鵞鑾鼻字大坂埒（大坂埒警察官吏派出所前）	恒春郡恒春街鵞鑾鼻字墾丁墾丁溪右岸		
大湖停車場道	四五四・五	岡山郡湖內庄大湖縱貫道路四、五〇七米ヨリ分岐	岡山郡湖內庄大湖（大湖停車場前）		
路竹停車場道	一一九・一	岡山郡路竹庄路竹縱貫道路八、〇八六米六ヨリ分岐	岡山郡路竹庄路竹（路竹停車場前）		
岡山停車場道	三八七・三	岡山郡岡山街岡山縱貫道路一五、八二八米ヨリ分岐	岡山郡岡山街岡山（岡山停車場前）		
橋子頭停車場道	三一六・四	岡山郡楠梓庄橋子頭縱貫道路二〇、七〇〇米ヨリ分岐	岡山郡楠梓庄橋子頭（橋子頭停車場前）		
楠梓停車場道	六九・一	岡山郡楠梓庄楠梓縱貫道路二四、二八七米ヨリ分岐	岡山郡楠梓庄楠梓（楠梓停車場前）		
舊城停車場道	九〇九・一	高雄市埤子頭縱貫道路三〇、七八九米ヨリ分岐	高雄市埤子頭（舊城停車場前）		
三塊厝停車場道	四一五・三	高雄市三塊厝縱貫道路三八、〇八〇米ヨリ分岐	高雄市三塊厝（三塊厝停車場前）		

鳳山停車場道	六六七・三	鳳山郡鳳山街鳳山（鳳山郡役所横）	鳳山郡鳳山街鳳山（鳳山停車場前）		
後庄停車場道	六四一・八	鳳山郡大寮庄磚子磻縱貫道路四九、七〇八米ヨリ分岐	鳳山郡大寮庄磚子磻（後庄停車場前）		
九曲堂停車場道	六〇四・〇	鳳山郡大樹庄九曲堂縱貫道路五三、九四七米六ヨリ分岐	鳳山郡大樹庄九曲堂（九曲堂停車場前）		
西勢停車場道	二・四五四・五	潮州郡內埔庄新北勢屏東枋寮道七、二四五米四ヨリ分岐	潮州郡竹田庄西勢（西勢停車場前）		
竹田停車場道	一・三九七・三	潮州郡竹田庄竹田屏東枋寮道一四、七九六米四ヨリ分岐	潮州郡竹田庄竹田（竹田停車場前）		
潮州停車場道	二七六・四	潮州郡潮州街潮州屏東枋寮道一八、四〇〇米ヨリ分岐	潮州郡潮州街潮州（潮州停車場前）		
溪州停車場道	四・一六三・八	東港郡東港街內關帝東港潮州道二、一三〇米九ヨリ分岐	東港郡林邊庄溪州（溪州停車場前）	東港郡	東港街 林邊庄	三西和 七塊厝
高雄停車場道	七〇〇・四	高雄市山下町高雄鳳山道八二一米四ヨリ分岐	高雄市山下町（高雄停車場前）		
高雄馬公道	七八七・三	高雄市山下町高雄停車場道五五四米九ヨリ分岐	高雄市新濱町（高雄港岸壁）	高雄市	湊町

臺東廳

路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	經過地 街庄	經過地 大字名
臺東花蓮港道	五八・八六〇・一 粁米	臺東街臺東（臺東廳前）	關山郡關山庄池上花蓮港臺東道終點（花蓮港廳界）ニ接續	臺東郡 關山郡	臺東街 卑南庄 鹿野庄 關山庄	馬蘭 卑南、日奈敷、初鹿 鹿野、大原 日野、關山
臺東上大和道	九五・四二五・六	臺東郡卑南庄卑南臺東花蓮港道三、四八三米六ヨリ分岐	新港郡長濱庄樟原上大和臺東道終點（花蓮港廳界）ニ接續	臺東郡 新港郡	臺東街 都鑾庄 新港庄 長濱庄	石山 都鑾、八里、佳里、大馬 小馬、都歷、鹽濱、新港、小湊、大濱 寧埔、城山、長濱、眞柄
臺東港道	一・四九二・七	臺東街臺東	臺東街臺東（臺東港上陸場）			
臺東知本道	一一・二〇九・〇	臺東郡臺東街臺東	臺東郡卑南庄知本楓港臺東道ニ接續	臺東郡	臺東街	旭
都蘭富里道	二八・二一〇・〇	新港郡新港庄小馬臺東上大和道ヨリ分岐	新港郡都蘭庄高原（臺東廳界）富里都蘭道終點ニ接續	新港郡	都蘭庄	高原
楓港臺東道	八六・一九一・〇	臺東郡蕃地（高雄州界）	臺東郡臺東街馬蘭臺東花蓮港道一、七四五米ニ接續	臺東郡	蕃地 大武庄 太麻里庄 卑南庄	アロエ社 大武、大鳥、加津林、加奈美、大竹 大溪、多々良、瀧、金崙、南太麻里、香蘭、太麻里、北太麻里 美和、知本、利家

花蓮港廳

路線名	延長	起點	終點	經過地 郡市	經過地 街庄	經過地 大字名
花蓮港臺東道	一一六・二九一・一 粁米	花蓮港市花蓮港花蓮港神社道、海岸停車場道及蘇澳花蓮港道起點（花蓮港廳前）ヨリ分岐	玉里郡富里庄堺臺東花蓮港道終點（臺東廳界）ニ接續	花蓮郡 鳳林郡 玉里郡	吉野庄 壽庄 鳳林庄 瑞穗庄 玉里庄 富里庄	田浦、吉野 賀田、壽、豐田 林田、鳳林、上大和 大和、白川、鶴崗、舞鶴 三笠、末廣、玉里、落合、長良 大里、竹田、富里
上大和臺東道	三六・一〇六・四	鳳林郡鳳林街上大和	鳳林郡新社庄靜浦臺東馬太鞍道終點（臺東廳界）ニ接續	鳳林郡	鳳林街 新社庄	富田 豐濱、戶敷、石梯、大港口
富里都蘭道	一七・六〇〇・〇	玉里郡富里庄富里花蓮港臺東道ヨリ分岐	玉里郡富里庄堺（臺東廳界）都蘭富里道ニ接續			
瑞穗落合道	二七・三九〇・〇	鳳林郡瑞穗庄瑞穗花蓮港臺東道ヨリ分岐	玉里郡玉里街落合花蓮港臺東道ニ接續	玉里郡	玉里街	春日、觀音山
花蓮港初音道	七・一一五・四	花蓮港市花蓮港	花蓮郡吉野庄初音花蓮港臺東道ニ接續	花蓮郡	吉野庄	南浦、吉野、草分
花蓮港神社道	三一八・六	花蓮港市花蓮港花蓮港臺東道、海岸停車場道及蘇澳花蓮港道起點（花蓮港廳前）ヨリ分岐	花蓮港市花蓮港（花蓮港神社前）			
海岸停車場道	六二七・三	花蓮港市花蓮港花蓮港臺東道、花蓮渡神社道及蘇察花蓮港道起點（花蓮港廳前）ヨリ分岐	花蓮港市花蓮港海岸			

澎湖廳

路線名	延長	起點	終點	經過地			摘要
				郡市	街庄	大字名	
初音壽道	一七八七〇	花蓮郡吉野庄初音壽停車場ヨリ北方四百米ヨリ分岐	花蓮郡壽庄壽停車場北方六百五十米	花蓮郡	壽庄	壽地	銅門池南、鯉魚池
蘇澳花蓮港道	五八〇七三〇	花蓮港市花蓮港	花蓮郡蕃地大濁水溪（臺北州界）蘇澳花蓮港道終點ニ接續	花蓮港市 花蓮郡		蕃地	米崙 加禮、北埔、新城 プセガン、ロチエン、タツキリ、清水、カナガン、グークツ、トーヘン
		花蓮港市花蓮港臺東道、花蓮港神社道及海岸停車場道起點ヨリ分岐	花蓮郡蕃地大濁水溪（臺北州界）蘇澳花蓮港道終點ニ接續		研海庄		
馬公棧橋道	群 四四一八 米	馬公街馬公（澎湖廳前）	馬公街馬公（馬公棧橋）				
馬公湖西道	六、七六三、六	馬公街紅木埕軍用道路ヨリ分岐	湖西庄湖西湖西良文港岐起點（湖西警察官吏派出所前）ニ接續		馬公街 湖西庄	東衛 西溪	
湖西良文港道	三〇五四五	湖西庄湖西馬公湖西道終點（湖西警察官吏派出所前）ヨリ分岐	湖西庄良文港（良文港警察官吏派出所前）		湖西庄	湖東、尖山	
馬大案山道	三七五四五	馬公街馬公軍用道路二八一米八ヨリ分岐	馬公街大案山		馬公街	文澳	

第三節　各主要地間交通連絡の現況

州又は廳所在地から之と隣接する州又は廳所在地及州又は廳所在地から州廳内郡市役所々在地への交通連絡の現況を示せば左の如くである。

發地	着地	連絡ノ現況 鐵道	自動車	徒歩	摘要
臺北	新竹	有	可能	不能	新店礁溪間道路未改修
同	羅東	有	可能	不能	濁水溪に橋梁を缺く
新竹	臺中	有	可能	不能	霧社、銅門間道路未改修
臺中	花蓮港	無	可能	不能	橋梁を缺く
同	宜蘭	有	可能	不能	新店礁溪間道路未改修
花蓮港	臺南	無	可能	不能	同
臺南	臺東花蓮港	有	可能	不能	
臺東花蓮港	臺東	無	可能	不能	
高雄	淡水	有	可能	不能	
臺南	臺北基隆	有	可能	不能	
高雄	臺東	無	可能	不能	
臺南	高雄	有	可能	不能	
同	花蓮港	無	可能	不能	
臺中	臺南	有	可能	不能	
新竹	臺中	有	可能	不能	
臺北	竹東	有	可能	不能	
同	花蓮港	無	可能	不能	
花蓮港	臺中	有	可能	不能	
同	竹東	有	可能	不能	
臺北	北基	有	可能	不能	
同	淡水	有	可能	不能	
同	宜蘭	有	可能	不能	
同	羅東	有	可能	不能	

同	蘇澳	有		不能	同
同	新店	有	可能		
同	板橋	有	可能		
同	新莊	無	可能		
新竹	中壢	有	可能		
同	桃園	有	可能		
同	大溪	新竹桃園間有	可能		
同	竹東	無	可能		
同	竹南	有	可能		
同	苗栗	有	可能		
同	大湖	新竹苗栗間有	可能		
臺中	豐原	有	可能		
同	東勢	臺中土牛間有	可能		
同	清水	有	可能		
同	彰化	有	可能		
同	員林	有	可能		
同	北斗	有	可能		
同	南投	有	可能		
同	集々	臺中草屯間有	可能		

同	埔里	有	可能
同	竹山	臺中員林間有	可能
臺南	新化	臺南新市間有	可能
同	麻豆	有	可能
同	佳里	有	可能
同	新營	有	可能
同	嘉義	有	可能
同	斗六	有	可能
同	虎尾	有	可能
同	北港	有	可能
同	朴子	有	可能
高雄	岡山	有	可能
同	鳳山	有	可能
同	旗山	有	可能
同	屏東	有	可能
同	潮州	有	可能
同	東港	有	可能
同	恒春	高雄枋寮間有	可能
臺東	新港	無	可能

同	關山	有	不能	橋梁を缺く
花蓮港	鳳林	有	不能	同
同	玉里	有	不能	同

備考

一　自動車の欄に記述を缺く區間は自動車交通不能なるものとす

二　徒歩連絡の能、不能は荷物擔送に依る交通の能、不能を標準とせり、同欄の記述を缺く區間は荷物擔送に依る交通可能なるものとす

第四節　現在施行中の道路工事

昭和十六年度に於ける國庫及地方費の道路費（市區計畫及蕃地に屬するものを除く）豫算額は左の如くである。

國庫地方費ノ別	主管廳	經常臨時ノ別	費目	昭和十六年度豫算額	摘要
國庫	交通局	經常部	交通局	円 九〇、二九七	
			道路港灣事業費		
			保存費	九〇、二九七	蘇澳花蓮港道及楓港臺東道維持費
		臨時部	事業費	一、八九七、二〇六	
			新店礁溪間道路改修費	三一〇、八一五	
			工事費	三一〇、八一五	

地方費	臺北州	經常部	花蓮港臺東道橋梁架設費	二九二、〇〇〇	
			工事費	二九二、〇〇〇	
			中部横斷道路開鑿費	二二〇、〇〇〇	
			工事費	二二〇、〇〇〇	
			道路改良費	一、〇七一、七〇〇	
			工事費	一、〇七一、七〇〇	臺中臺南及高雄の各州管内道路改良費
			災害應急工事費	二、六九一	
			産金奬勵及管理費	三六二、四七二	
			産金道路開鑿費	三六二、四七二	
			工事費	三六二、四七二	
			災害費	三九三、一三〇	
			道路堤防其他風水害復舊費	三九三、一三〇	
			道路其他復舊費	三九三、一三〇	
			補助費	八七二、〇一五	各州、花蓮港及臺東廳に補助する豫算とす
			指定道路改修工事費補助	七六五、二七七	
			重要指定道路架橋工事費補助	一〇六、七三八	
			國庫計	三、六一五、一二〇	
				一〇七、五六五	

州廳	區分	金額	備考
	臨時部	四六九、九五〇	
	計	五七七、五一五	
新竹州	經常部	八五、四一七	
	臨時部	五八〇、七九三	
	計	六六六、二一〇	
臺中州	經常部	一一九、六四一	
	臨時部	七三〇、一二三	
	計	八四九、七六三	
臺南州	經常部	二四七、六二四	
	臨時部	七〇三、三二七	
	計	九五〇、九五一	
高雄州	經常部	一四四、五一〇	
	臨時部	一七三、〇九〇	
	計	三一七、六〇〇	
臺東廳	經常部	二六、二一二	
	臨時部	二九三、一九三	
	計	三一三、四〇五	
花蓮港廳	經常部	一八、八五六	
	臨時部	一九七、九三三	
	計	二一六、七七八	
澎湖廳	經常部	四、二六五	
	臨時部	—	
	計	四、二六五	
州費及廳費ノ計		三、八九六、四八七	指定道路改修工事費國庫補助金八七二、〇一五圓を含む
總計		六、六三九、五九二	國庫補助金八七二、〇一五圓を除く

右の豫算を以て施行する道路工事の概要は左の如くである。

一　國庫事業

イ　縱貫道路改修工事

現計畫の起因　縱貫道路とは基隆市を起點とし屏東市を終點とする道路の名稱であつて、大正五年六月臺北臺南道、臺北基隆道、臺南鳳山道及鳳山阿緱（屏東）道を合せて此の名稱を附けたものである。本道は遠く領臺當時軍道として其の大部分を新設又は改築せられ、爾來國費又は地方費を以て部分的改築を施行し來つたのであるが、其の後道路交通發達の狀勢は此の全線を改良して本島道路體系の幹線とするの必要を示すに至つたので、先づ大正五年幹線とするに相應しい縱貫道路と云ふ名稱を附け次で路線を整理し道路の幅員を平地部十四米五十四糎、山間部十米九十一糎、橋梁の有效幅員を五米四十五糎以上（當初の計畫は長五十四米五十四糎未滿は四米四十五糎以上、長五十四米五十四糎以上は五米四十五糎以上であつたが大正十年本幅員に改めた）と

する計畫を樹て、大正八年度臺南鳳山間から其の實行に着手した。其の後國庫の道路事業は殆んど其の全力を本道路の橋梁架設其の他の工作物の築造に注入せられたが、平地部の土工に要する勞力及敷地は地方民の寄附に俟ち、簡易な工作物の築造其の他に幾分の地方費をも加へて、大正十四年度迄七箇年に亙つて國費四百八萬六千餘圓、地方費三十九萬七千餘圓、敷地寄附約八十六萬八千圓、勞力寄附約百六萬三千圓、卽ち總額六百四十一萬四千餘圓を投じて臺北、大肚、二層行溪の三大橋梁の架設及工事の比較的容易な平地部三百八十五粁餘の土工を終へた、如斯地方民の寄附に依つて漸く平地部の土工を終了したが、其の間にある橋梁其の他の工作物の築造は之に伴はないで、各所に介在する河川溝渠は道路の連絡を遮斷して車馬の交通充分なる事を得ないのみならず、大部分は其の使用を開始することさへも不能な狀態に置かれたので、民意は次第に架橋其の他工作物築造の促進を望んで已まず、此處に於て大正十五年度より國庫の繼續事業として其の完成計畫を遂行することゝしたのであるが是が、卽ち現在施行中の縱貫道路改修工事である。

現計畫の大要　當初は大正十五度以降十箇年度に亙り、總工費一千百四十二萬二千二百三十五圓を豫定して、西部地方の大河である濁水、下淡水兩溪の橋梁を除き其の他の橋梁、隧道、暗渠等一切の工作物の築造竝に山間部の道路擴張等、縱貫道路の擴張及貫通に關する殘工事を行はんとする計畫であつたが、昭和四年度以降數回に亙り、政府の物價及財政政策の爲に既定豫算を節減又は繰延べられて、其の終期は昭和十一年度となり、更は昭和十年度には下淡水溪の架橋工事を、昭和十二年度には濁水溪の架橋工事を追加して其の繼續工事期間を昭和十六年迄に延長したが、此の濁水溪架橋工事は橋體の築造に多量の鐵鋼材を要するので、昭和十五年度橋臺及橋脚の築造を完了せしむるに止めて之を中止することゝし、夫れに伴つて縱貫道路改修工事は繼續年限を一箇年短縮し昭和十五年度を以て打切ることになつて目下施行中である。

縱貫道路改修費豫算年度割表

年度	工事費	補助費	計
大正十五年度	円 九三七、〇三五	円 一二三、四〇〇	円 一、〇六〇、四三五
昭和二年度	九四九、二六〇	二一〇、〇〇〇	一、〇六九、二六〇
同三年度	九四四、九五〇	—	九四四、九五〇
同四年度	七五〇、五六〇	七六、〇〇〇	八二六、五六〇
同五年度	八一八、八九一	—	八一八、八九一
同六年度	四三三、二六五	—	四三三、二六五
同七年度	七三六、一七七	—	七三六、一七七
同八年度	一、二一〇、九八九	—	一、二一〇、九八九
同九年度	九四七、一六一	—	九四七、一六一
同十年度	九六〇、三六八	—	九六〇、三六八
同十一年度			

同　十二年度	一、一七三、〇七六	—	一、一七三、〇七六
同　十三年度	五六三、〇七六	—	五六三、〇七六
同　十四年度	五八三、四一二	—	五八三、四一二
同　十五年度	九八〇、七六五	—	九八〇、七六五
合　計	一三、〇五九、四七六	三一九、四〇〇	一三、三七八、八七六

備考　補助費は嘉南大圳組合に交付したものであつて、同組合の水路橋に道路橋を添架するものゝ所要額である。大正十五年度及昭和二年度分は曾文溪橋昭和四年度分は官田溪橋及渡頭溪橋に對するものである

縱貫道路改修工事費豫算工種別豫定表

工種	豫定額	工事費總額ニ對スル割合	備考
橋梁費	一〇、三三〇、九二四円	八〇%	補助費　三一九、四〇〇圓
暗渠費	四六五、六〇一	三	其ノ他　一〇、〇一一、五二四圓
土工費	一、七八〇、二四五	一三	隊道費　三二五、〇〇〇圓
砂利敷費	六九三、五七九	四	其ノ他　一、四五五、二四五圓
補償費	一〇八、五二七	一	
計	一三、三七八、八七六	一〇〇	

備考　用地は全部寄附受のこととし收得又は承諾濟である。

工事施行の狀況　昭和十三年十二月末には濁水溪附近を除いては全線自動車の交通が自在となつた。現在施行中の工事は昭和十五年度より繰越した楠梓高雄間路線變更工事のみである。

ロ　新店礁溪間道路改修工事

本島の首都臺北市から臺灣を東廻りして花蓮港廳所在地花蓮港市を經て臺東廳所在地臺東街に達する路線は、本島道路網の太幹線であつて、臺北州下の新店礁溪間は此の路線内に於ける延長約六十五粁の一區間である、昭和十一年度より昭和十七年度に至る七箇年繼續の國庫事業として此の間に有效幅員平地部九米、山地部五米を標準とする道路を新設することゝして工事施行中であるが、完成の曉には臺北、花蓮港兩市間延長二百二十六粁餘の區間は自動車交通が可能となり、交通上は勿論沿道の開發上にも稗益するところが多大であらう。

新店礁溪間道路改修費豫算總額譯　二、五〇七、〇〇〇

圓内

區別	昭和十一年度	同十二年度	同十三年度	同十四年度	同十五年度	同十六年度	同十七年度	計
奏任俸給	三、七七八円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	三四、〇〇〇円
判任俸給	七、〇九二	九、四五六	九、四五六	九、四五六	九、四五六	九、四五六	九、四五六	六三、八二八

賞與	—	—	—	一、四四九	一、四四九	一、四四九	四、三四七
事務費	一八、〇九〇	二四、六九二	二四、一九二	二三、六九二	二三、二四三	一九、二四三	一五六、三九五
工事費	二八一、三〇〇	三一〇、〇〇〇	二六〇、〇〇〇	二〇七、五〇〇	四一三、五〇〇	三一〇、八一五	二、二四八、四三〇
計	三一〇、二六〇	三四九、一八五	二九九、一八五	二四五、六八五	四五二、六八五	三五〇、〇〇〇	二、五〇七、〇〇〇

工事施行の狀況　昭和十一年度に於ては新店起點より延長約八粁五百米の區間を、昭和十二年度に於ては同區間に於ける殘工事及新店起點八粁五百米より二十三粁六百米に至る間を、昭和十三年度に於ては昭和十二年度起工の區間に於ける殘工事を、昭和十四年度に於ては前年度殘工事を完成し更に新店起點二十三粁六百米より二十六粁五百米に至る區間及五十六粁三百米より終點（六十三粁三十七米）に至る區間を、昭和十五年度に於ては前年度殘工事と新店起點二十六粁五百米より二十八粁六百四十米に至る區間及四十九粁七百六十六米より五十六粁三百米に至る區間を新設し、昭和十六年度に於ては前年度殘工事と新店起點四十粁七百六十米より四十九粁七百六十六米の區間を新設する豫定である。

八　花蓮港臺東道橋梁架設工事

花蓮港臺東道は花蓮港廳所在地花蓮港市より臺東廳所在地臺東街に達する延長百七十五粁餘の道路にして本島道路網の幹線たる所謂臺灣一周道路の一區間である、本道は地元民の勞力奉仕と廳地方費とを以て路體の築造と小橋梁、暗渠等の新設を終つたが、大橋梁六箇所及中橋梁九箇所の新設を殘すので交通連絡を全く鎖してゐる、依つて昭和十五年度以降六箇年繼續の國庫事業として總豫算三百四十三萬六千六百八十二圓を以て本十五橋を新設することゝし工事に着手したのであるが、本工事の起工に依つて臺灣一周道路の完成計畫は縱貫道路の濁水溪橋を除いて全部の着手を見た次第である。

花蓮港臺東道橋梁架設工事豫算總額　三、四三六、六八二圓

區分	昭和十五年度	同　十六年度	同　十七年度	同　十八年度	同　十九年度	同　二十年度	計
奏任俸給	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	五、〇三七円	三〇、二二二円
判任俸給	七、八八〇	九、四五六	九、四五六	九、四五六	九、四五六	九、四五六	五五、一六〇
賞與	一、二九一	一、四四九	一、四四九	一、四四九	一、四四九	一、四四九	八、五三六
事務費	二六、四七四	三一、二五八	三一、二五八	三一、二五八	三一、二五八	三一、二五八	八二、七六四
工事費	二〇〇、〇〇〇	二九二、〇〇〇	五九二、〇〇〇	五九二、〇〇〇	五九二、〇〇〇	五九二、〇〇〇	三、一六〇、〇〇〇
計	二四〇、六八二	三三九、二〇〇	六三九、二〇〇	七三九、二〇〇	七三九、二〇〇	七三九、二〇〇	三、四三六、六八二

工事施行の狀況　昭和十五年度に於ては卓溪（橋長一〇〇米）及知亞于溪（橋長五〇〇米）の架橋工事に着手し、卓溪架橋工事を完成せしめた、昭和十六年度に於ては前年度に引續き知亞于溪架橋工事を施行完成せしめ尙紅葉溪（橋長一八四米）架橋工事に着手する計畫である。

ニ　中部横斷道路開鑿工事

中部横斷道路は中央山脈に依つて陸上交通を遮斷せられたる本島の東西兩地方を、其の畧中央で連絡するもので、西部臺灣中部の都市臺中と東部臺灣の都市花蓮港とは、本道の新設に依り約百九十粁の延長で自動車連絡を可能とするに至るのである。本路線の內臺中州能高郡蕃地霧社より富士社に至る延長十三粁五百五十五米の區間は、金增產計畫上の必要に依つて昭和十五年度の事業として自動車交通路を開鑿せられるに付、其の終點富士社から花蓮港廳花蓮郡蕃地銅門迄延長七十粁七百四十一米の道路未開鑿區間を本事業に依つ自動車交通を可能ならしめようとするものである。

計畫の大要　昭和十六年度以降七箇年繼續の國庫事業として總豫算九百三十三萬圓を以て富士社銅門間延長七〇、七四一米八の間に有效幅員三米五〇、最急勾配二十分の一の道路を新設し所々に待避所を設く、二箇所に延長二、四一〇米及七七四米の混凝土卷隊道を設け其の有效幅員は三米五〇と爲し內部延長二〇〇米每に幅員四米五〇、長五〇米の待避所を設く、橋梁は有效幅員三米とし其の徑間三〇米以上のものは橋床木造の吊橋、其る他は橋體及橋脚を木造とし、橋臺を割石練積と爲す、路面は有效幅員三米五〇に厚一〇糎を標準として碎石敷と爲す計畫である。尙本工事は社會事業に屬する青年訓練作業に依つて、見積價額約五十萬圓に當る工程を交通局員指導の下に施行する計畫である。

中部横斷道路開鑿工事豫算總額　九、三三〇、〇〇〇圓

區分	昭和十六年度	同十七年度	同十八年度	同十九年度	同二十年度	同廿一年度	同廿二年度	計
奏任俸給	一三五九三円	一五一一一円	一五一一一円	一五一一一円	一五一一一円	一五一一一円	一五一一一円	一〇三一三五八円
判任俸給	一九三〇六	二六七九三	二六七九三	二六七九三	二六七九三	二六七九三	二六七九三	一八〇〇五八
賞與	四一三八	五四一八	五四一八	五四一八	五四一八	五四一八	五四一八	三六四六
事務費	四三九四	七七六七九	七七六七九	七七六七九	七七六七九	七七六七九	七七六七九	五一〇〇三八
工事費	三一〇〇〇〇	一四〇五〇〇〇	一三七五〇〇〇	一三七五〇〇〇	一三七五〇〇〇	一三七五〇〇〇	一三七五〇〇〇	八五〇〇〇〇〇
計	三三〇〇〇〇	一五三〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇〇	九三三〇〇〇〇

ホ　道路改良工事

道路改良工事は道路の舖裝を主とする國庫の直轄工事に對して附けた豫算上の名稱であつて、昭和十年度本島最初の郊外道路舖裝事業たる臺北基隆間工事を開始するに際して附けられたものであるが、工事の內容は現在では縱貫道路舖裝の域を脫しないのである。昭和十年度から昭和十三年度迄の四箇年間は、臺北基隆間のみの工事を施行してゐたが、昭和十四年度からは高雄州管內に於ける岡山高雄間の工事を加へ、昭和十五年よりは同州管內の殘れる區間たる臺南州界岡山間と高雄屏東間との工事を追加し、同年度臺北基隆間工事の完了に引續いて翌昭和十六年度からは中壢臺南間の工事を加へて今日に至つてゐる。以上で本島道路の最大幹線たる縱貫道路の舖裝計畫は臺北橋の左岸から中壢迄約三十五粁の區間を殘して確定した次第である。

(一)　臺北基隆間道路改良工事

縱貫道路の基隆臺北間は臺北、基隆兩市の地理的及經濟的關係から自動車の交通量が大であつて、然も其の交通は臺北市が全島の政治竝に商業の中樞である關係上全島的に係る性質を有してゐるから、此の間に於ける交通運輸の迅速、低廉、安全、正確、便利等の程度は直に全島に影響を及ぼすことは、恰も內地の京都又は阪神國道に於けるが如くである。依つて本島郊外道路舖裝の第一着手として昭和十年度より此の區間の舖裝を行ふこととした。

工事の大要　昭和十年度以降六箇年繼續で、總工費百四十九萬六千圓を以て、臺北基隆間の兩市內既舖裝分を除きたる延長約二十九粁に亘り、各所の路體を改良し、不良曲線部の路線を變更し、道路の中央六米幅は高速度車輛交通機關の通路として基層厚十五糎、表層厚五糎で此の兩層の中間は一平方米當三、三六七瓦の鐵筋を配した混凝土舖裝と爲し、其の兩側各二米は基礎に玉石を敷き其の表面に簡易アスファルト舖裝を爲して之れを緩速車輛の通路と爲し、尙其の兩側各二米に簡易アスファルト舖裝を爲して步道に充てることを標準として工事を施行し、昭和十六年三月此等の一切を完了した。

(二)　高雄州管內道路改良工事

縱貫道路の高雄州管內は其の總延長六十一粁六百四十五米であるが、先づ第一着手として此の內岡山高雄間約二十二粁五を昭和十四年度以降三箇年繼續事業として、總豫算六十五萬圓を以て舖裝する計畫を成立した、然るに其の豫算計畫を實行せんとする頃には此の內の楠梓高雄間は路線の變更を要することとなり、又高雄屏東間と岡山臺南間も舖裝の急施を必要とする情勢となつたので、翌昭和十五年度には高雄州管內の縱貫道路全線を舖裝することに計畫を擴大し、總豫算百二十五萬圓を追加して、繼續年限を一箇年延長し、前後の工事を合せて昭和十七年度中半に於て完了せしめることとした。これが現在施行中の工事であるが、上述の路線變更に依り高雄州管內の縱貫道路は總延長が約五十五粁に短縮することになる。工事は道路の中央六米幅を基混凝凝土厚十二糎、表層ワービツトモルタル厚二糎を標準としてゐる。

(三)　中壢臺南間道路改良工事

昭和十六年度以降五箇年繼續事として總豫算五百六十七萬三千八百圓を以て、新竹州中壢郡中壢街より臺南市に至る延長約三百三十二粁の縱貫道路を、中央六米幅にベノリシツク舖裝又は簡易混凝土舖裝する計畫である。臺南市より臺南、高雄兩州界迄の間は臺南州の負擔で簡易舖裝を施行濟であるから本計畫より除外した。

道路改良工事豫算總額　九、一八九、四八〇圓

區分	昭和十四年度迄	同十五年度	同十六年度	同十七年度	同十八年度	同十九年度	同二十年度	計
奏任俸給	二五、一八五円	一三、六九四円	一八、七三一円	一六、二二三円	一八、七三一円	一八、七三一円	一八、七三一円	一三〇、〇一六円
判任俸給	三二、三〇八	一七、三三六	二三、六四〇	一七、三三六	二五、二一六	二五、二一六	二五、二一六	一六六、二六八
賞與	—	三、一〇三	五、九七〇	五、〇八八	四、三九四	四、三九四	四、三九四	二七、三四三
事務費	七八、八八七	四六、七六七	七九、九五九	五六、八六三	七二、三五九	七二、三五九	七二、三五九	四七九、五五三
工事費	一、六〇七、六〇〇	五四〇、八〇〇	一、〇七一、七〇〇	一、一九三、四〇〇	一、三二四、〇〇〇	一、三二四、〇〇〇	一、三二四、八〇〇	八、三八六、三〇〇
計	一、七四三、九八〇	六二一、七〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、二八八、九〇〇	一、四四四、七〇〇	一、四四四、七〇〇	一、四四五、五〇〇	九、一八九、四八〇
工事費内譯 臺北州	一、四二四、六〇〇	七一、七〇〇	—	—	—	—	—	一、四九六、三〇〇
工事費内譯 新竹州	—	—	—	—	三一一、八〇〇	四六七、七〇〇	一、〇三九、六〇〇	一、八一九、一〇〇
工事費内譯 臺中州	—	—	三〇八、八〇〇	四六八、七〇〇	三八八、七〇〇	二八五、二〇〇	二八五、二〇〇	一、七三六、六〇〇
工事費内譯 臺南州	—	—	一五四、八〇〇	三一四、九〇〇	六二三、五〇〇	五七一、一〇〇	—	一、六六四、三〇〇
工事費内譯 高雄州	一八三、〇〇〇	四六九、一〇〇	六〇八、一〇〇	四〇九、八〇〇	—	—	—	一、六七〇、〇〇〇

備考　工事費豫算額の四分の一は地元州費で分擔することにしてゐる。

〈　産金道路開鑿工事

本島中央山脈に源を發する河川の上流に於ける高位段丘に包藏する砂金を採鑛するの必要に備へることを主なる目的として、産金管理及奬勵事業の一として溪畔タビト間と霧社富士間の道路開鑿工事を昭和十五年度より着手した、其の計畫の大要は左の如くである。

（一）溪畔タビト間道路開鑿工事

花蓮港廳下タツキリ溪の上流タビトに自動車を通ずる道路を新設する爲、昭和十五、十六兩年度に亘る事業として、溪畔からタビトに至る延長一三粁五〇米の道路を開鑿する計畫であつて、道路の構造は最急勾配十五分の一、有效幅員を三米五とし所々に待避所を設け、隊道及半隨道一〇九箇所延長五粁六三二米、其の有效幅員三米五とし、橋梁五箇所延長二〇三米は有效幅員三米とする計畫で進んでゐる。

（二）霧社富士間道路開鑿工事

臺中州下濁水溪上流霧士社迄自動車を通ずる道路を新設する爲、霧社、富士社間に延長一三粁五五五米の道路を昭和十五年度事業として開鑿せんとするもので、道路の構造は有效幅員を四米五とつ所々に待避所を設け、隧道一箇所延長三五米は有效幅員四米とし、橋梁四箇所延長一三九米は有效幅員三米とする計畫である、工事は昭和十六年度に繰越し目下續行中である。

産金道路開鑿工事豫算額　二、〇七九、三二五圓

區分	昭和十五年度	同十六年度	計	備考
奏任俸給	一一、三三三円	一〇、〇七四円	二一、四〇七円	
判任俸給	一四、一八四	一一、〇三二	二五、二一六	
賞與	一、六六二	二、七五九	四、四二一	
事務費	八一、二九七	三二、三八八	一一三、六八五	

工事費		
工事費内訳	溪畔タビト間	一、五五二、二三四
	霧社富士間	九六六、七八
	計	五七五、三九六
		一、六六〇、六〇〇

ト　災害復舊工事

本工事は昭和十五年九月下旬に襲來せる暴風雨に因つて受けた道路の災害で、同年度中其の復舊を終へ兼ねたものを昭和十六年度本豫算に計上して施行しつゝあるのであつて、楓港臺東道、蘇澳花蓮港道及花蓮港臺東道の各災害後舊工事である。

道路堤防其他風水害復舊費豫算額　三九三、一三〇圓

區分	豫算額
楓港臺東道	三一〇、〇〇〇圓
蘇澳花蓮港道	三一、〇〇〇圓
花蓮港臺東道	四一、一三〇圓
計	三九三、一三〇圓

二　地方費事業

イ　國庫補助指定道路改修事業

計劃の起因

大正の末期の頃臺灣に於て最も遲れたる國家事業は道路であるとの聲が高まつたと云ふことであるが、統計其の他から判斷しても尤もな評であつたらうと首肯出來る、清領時代殆んど道路が無かつた狀態の臺灣に對して、改隷以來大正十四年度迄の三十年間に於て投ぜられた國費及地方費の道路事業費は、漸く二千三百萬圓程度であつて、其の一箇年の平均額は七十六萬圓に過ぎず然かも臺灣は地勢山地に富み、河川の亂流甚しくして、道路事業の遂行には巨費を要する事情がある、自然大正の末期に在つては、郊外道路で自動車を通じ得る形態を具ふるものは皆無の狀態であつたやうである。於茲總督府は先づ大正十五年度以降十箇年繼續の縱貫道路改修計劃を樹て、道路事業に對する國費の支出を增加したが、更に昭和二年度からは蘇澳花蓮港道改修事業を加へて一層其の額を增加し、所謂國道豫定線の國費に依る改修方針を定めたが、幹線道路の改修は地方幹線道路から、延て各支線道路の改修に俟ちて始めて其の效果を全からしむる所以である。然るに何分此等の道路事業費を負擔する本島の公共團體は、其の財力貧弱であつて巨費を要する道路事業は、獨力能く之を遂行するの計劃を樹つること能はず、遂に改修を遷延するの狀態であつたが、斯くては本島の交通は永久に舊態を脫すること能はずして、行政上の支障あるは勿論、產業文化の進展を阻礙し、有事に際しては防備に支障を來すものであるので、茲に重要地方道路の改修を國庫が助成する必要を來した。

計劃の大要

當初の計劃　行政上及產業上特に重要なる道路の改善を促進する方針の下に、各州管內に於け

る從來の指定道路の內、特に重要なる路線約一千二百八十三粁を指定し、第一期事業として昭和五年度以降十箇年間、毎年二十八萬五千圓（工事費の三分の一迄）宛、總額二百八十五萬圓の國庫補助金を州に交付して、總工費約九百萬圓（一箇年平均工費總額約九十萬圓）を以て、主として路幅の擴張及小橋梁の新設竝に之に伴ふ土工の施行を爲さしめ、其の平地部に於けるものは昭和十四年度を以て完成せしめる、但し人家連擔箇所であつて工費多額を要するもの及小橋梁で在つても在來分の架替は成るべく之を後圖に讓る、國庫補助金の算定に付ては、左の金額を補助基本額に加算して、補助金を定めることを得ると云ふことゝした。

一　道路に關する工事に因り著しく利益を受くる者の負擔する道路に關する工事の費用負擔額

二　道路に關する工事の爲必要を生じたる他の工事に付其の費用を負擔する者の負擔額

三　慣行に依り賦課する夫役又は現品の價格

四　寄附に係る勞力又は物件の價格

此の計畫は著手の翌年たる昭和六年度に於て補助豫算額を物價下落其の他の事情に依り二十五萬六千五百圓（二十八萬五千圓に對する一割減）に減額し、更に昭和七年度以降各年度に於ては二十四萬二千二百五十圓（二十八萬五千圓に對する一割五分減）に減額するに至つたが大體當初豫定の工程を進めることを得た。

昭和五年度本助成事業を開始して地方道路の改良に積極的方針を示すや、地元民は大に其の效果を認識して、進んで土地勞力の奉仕を爲し、各道路の改良を促進せんとする模樣を示すものあるに至つたので、此等の地方に對しては、當初の方針たりし平地部の路幅の擴張完成は其の地元民に委し、州は大橋梁の新設を爲すに如かずと認め、途中計劃の變更を承認したものもある、夫等の狀況は左の如くである。

一　新竹州は特に財力貧弱なると山地多きに因り、道路事業の遂行を至難とするところであるが、本事業の開始に因り過半地元民の奉仕を以て、各指定道路は一般規格の通り改修せられた、此の狀況を管內道路延長一間當の坪數增加に依つて見れば左の如くである。

大正十四年末道路延長	七三九・一一里
右の道路坪數	二、五八六、四七六坪
右道路延長一間當坪數	一・六二坪
昭和五年末道路延長	七七一・八八里
右の道路坪數	二、八二八、七三一坪
右の道路延長一間當坪數	一・七〇坪
昭和十年末道路延長	八二五・九二里
右の道路坪數	八、〇〇七、七八九坪
右の道路延長一間當坪數	四・四九坪

二　臺南州は當初道路工五十八萬八千六百五十六圓、橋梁工九十六萬七千五百九十三圓を施行する計劃であつたが、昭和七年度以降の計劃を變更して、道路工は一切地元民の奉仕に委し、（路面工に要する砂利の購入及鐵道輸送だけを州費負擔）國庫補助工事は當初後圖に讓りたる長大橋の內六橋の新設に集注することにした、自然之に對する國庫補助割合は、總工費の二分の一迄に增率したが、各年度及十箇年間の補助豫定額は既定額に止めた、變更計劃の工種別工事費は、道路工十一萬三百十八圓、橋梁工百二十一萬三千三百七十七圓である、當時の管內道路延長一間當坪數の增加狀況は左の如くである。

大正十四年末道路延長　一、一五〇・五〇里
右の道路坪數　四、八一五、七一九坪
右の道路延長一間當坪數　一・九四坪
昭和五年末道路延長　一、二二三・二二里
右の道路坪數　五、八二八、六二五坪
右の道路延長一間當坪數　二・二一坪
昭和十年末道路延長　一、三八二・〇六里
右の道路坪數　九、九七七、九四五坪
右の道路延長一間當坪數　三・三四坪

尙玆に前揭以外の各州管內道路延長一間當坪數の增加狀況を示して、本制度創始の改善に資したる效果を窺ふに便ならしめる。

臺北州管內

大正十四年末道路延長　六五六・一二里
右の道路坪數　一、六三九、二九三坪
右の道路延長一間當坪數　一・一六坪
昭和五年末道路延長　六五五・〇三里
右の道路坪數　二、一五四、五三一坪
右の道路延長一間當坪數　一・五二坪
昭和十年末道路延長　六九二・二五里
右の道路坪數　二、六一一、〇三二坪
右の道路延長一間當坪數　一・七五坪

臺中州管內

大正十四年末道路延長　五六二・〇五里
右の道路坪數　二、一〇九、二七八坪
右の道路延長一間坪數　一・七四坪

昭和五年末道路延長　五五五・二一里
右の道路坪數　三、三九六、七四五坪
右の道路延長一間當坪數　一一・八三坪
昭和十年末道路延長　六〇六・五二里
右の道路坪數　三、一六五、五五四坪
右の道路延長一間當坪數　二・四二坪
高雄州管內
大正十四年末道路延長　五一一・四三里
右の道路坪數　二、七四五、〇五二坪
右の道路延長一間當市數　二・四八坪
昭和五年末道路延長　四六五・三五里
右の道路坪數　二、八〇五、三三六坪
右の道路延長一間當坪數　二・七九坪
昭和十年末道路延長　四七二・八一里
右の道路坪數　三、二八四、〇六六坪
右の道路延長一間當坪數　二・二二坪

各州管內
大正十四年末道路延長　三、六一九・二一里
右の道路坪數　一三、八九五、八一九坪
右の道路延長一間當坪數　一・七八坪
昭和五年末道路延長　三、六七〇・五九里
右の道路坪數　一七、〇一三、九六八坪
右の道路延長一間當坪數　二・一六坪
昭和十年末道路延長　三、九七九・五六里
右の道路坪數　二七、〇四六、三八六坪
右の道路延長一間當坪數　三・一五坪

追加計畫　當初計畫の重要指定道路改修事業に依つて改修することに選定せる路線內には、尙後圖に殘された工事の分量が、道路工に於て八百四十餘萬圓、橋梁工に於て一千四百二十餘萬圓の巨費を算した、然るに前述の樣に、地元民の道路改良に對する熱意が高まり奉仕に依る道路の改良が急激に進み、殘工事として置いた道路工の內地元民の勞力奉仕に依つて出來る工事は、昭和八年末には殆んど施行し盡された狀態に到達して、自然之を自動車交通の用に供せなければならない樣な事情に立至つだが、之に必要なる殘工事を一氣に施行するが如きは、州及國庫財政の

容るゝことが出來ない狀態であつたので、昭和八年度から先づ急なるものから採つて漸進するの方針を採り、更に昭和九年度よりは新に國庫補助に依り改修するの必要を來したる路線又は工事を加ふることに擴張し、昭和十二年度からは聽費を以て施行する道路工事に對しても國庫補助の制度を開いた。當初の十箇年計畫國庫補助指定道路改修事業の終了したる昭和十五度以降に於ては、此の昭和八年度以降の方法のみに依り地方費道路の改修を助成しつゝある、昭和八年度以降に於て追加したる國庫補助豫算額は昭和八年度四萬五千圓、同九年度十五萬圓、同十年度十五萬圓、同十一年度二十七萬一千四百六十六圓、同十二年度四十二萬圓、同十三年度六十萬圓、同十四年度六十二萬九千七百六十五圓、同十五年度七十九萬二千十五圓、同十六年度以降百二十六萬六千七百四十二圓、合計四百三十二萬四千九百八十八圓に達した。

國庫補助改修道路名又は區間及延長

臺北州	臺北宜蘭道ノ內臺北景尾間及礁溪宜蘭間	宜蘭蘇澳道	臺北淡水道
	景尾龜山道ノ內景尾新店間	臺北板橋道	北投草山道
	士林金山道ノ內士林草山間	板橋桃園道	蘇澳花蓮港道ノ內蘇澳南方澳道分岐點間
	蘇澳南方澳道	基隆礁溪道	基隆金山道
	淡水金山道	草山金山道	三峽新竹州界道

	八堵瑞芳道	兒玉町枋寮道ノ內新店溪橋	二七五粁五〇〇
	延長		
新竹州			
	新竹竹東道	苗栗公司寮道ノ內苗栗縱貫道路交叉點間	桃園大園道
	中壢觀音道	平鎭關西道	桃園大溪道
	頭分竹南連	新社關西道	桃園尖山道
	竹南豐原道ノ內竹南三叉間	楊梅坎頭厝道	新竹舊港道
	苗栗大湖道	頭分南庄道	關西珊珠湖道
	新竹飛行場道	大溪龍潭道	大溪臺北州界道
	延長		二七六粁〇二八
臺中州			
	臺中埔里道	臺中集々道	臺中竹山道
	彰化鹿港道	北斗沙山道	豐原東勢道
	沙鹿梧棲道	田中北斗道	竹山林內道
	集々埋里道	王田清水道	員林集々道
	彰化草化道	彰化水尾道	埔里水底寮道

臺中梧棲道	臺中公館道	
延長	三七一粁一六四	
臺南州		
臺南北門道	北門鹽水道	
朴子北港道	斗南北港道	
新化玉井道	新市新化道	
麻豆佳里道	新營布袋道ノ內	
嘉義北港道	新營岸內間 民雄北港道ノ內	
後壁白河道	新巷北港間	
嘉義竹崎道	嘉義白河道	
林內竹崎道	小梅竹崎道	
關廟旗山道	中埔大埔道	
延長	三九三粁三三二	
高雄州		
楠梓旗山道	旗山甲仙道	
旗山六龜道	潮州恒春道	
屏東東港道	屏東潮州道	
旗山關廟道	內埔高樹道	
延長	三〇六粁二六四	
臺東廳		
都蘭富里道	富里都蘭道	
延長	二八粁二一〇	
花蓮港廳		
上大和臺東道	東港枋寮道	
延長	四〇粁一〇六	
澎湖廳		
外按竹嵩灣道	東衛通粱道	
文澳裏正角道	望按水按道	
鳥崁井子寮道	東衛隘門道	
延長	港尾西寮道	
合計	虎井嶼道	
延長	馬公大寮山道	
	六一粁五八〇	
	一、七五二粁一八四	

各州廳別國庫補助金年割豫定

區別	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	花蓮港廳	臺東廳	澎湖廳	計
昭和五年度	五六〇〇〇円	三三〇〇〇円	七七〇〇〇円	六〇〇〇〇円	六〇〇〇〇円	円	円	円	二八五、〇〇〇円
同六年度	五三一〇〇	二八八〇〇	六三一〇〇	六一一〇〇	五一三〇〇				二五六、五〇〇
同七年度	四八四五〇	二七、二〇〇	五九、五〇〇	五八、六五〇	四八四五〇				二四二、五〇〇
同八年度	四八四五〇	七二、二〇〇	五八、六五〇	五八、六五〇	四九、三〇〇				二八七、二五〇
同九年度	六八四五〇	三七、二〇〇	五八、六五〇	一二三、六五〇	一〇四三〇〇				三九二、二五〇
同十年度	七五、四五〇	四六、七〇〇	四六、七〇〇	九三、六五〇	一七、八〇〇				五一三、七一六
同十一年度	一〇五、一二六	六三、〇〇〇	一二八、六五〇	九三、六五〇	一三四三〇〇				六六三、二五〇
同十二年度	一四八、九五〇	五三、七六三	一五五、二五〇	一二三、一五〇	一五一、〇三八				八四三、二五〇
同十三年度	一八六、四三三	七三、一六七	一五三、六五〇	一六四、七一〇	二一一、八〇〇				八七、一〇一五
同十四年度	六六、一〇六	一六九、〇〇〇	一七〇、四五〇	九八、六五〇	二三三、六〇九	五一、一〇〇	四〇、五〇〇	五三、五〇〇	七九二、〇一五
同十五年度	五七、〇八三	一七三、〇八三	一三四、二九三	一二一、五六〇	一二九、四六七	一二五、五三〇	七三、〇〇〇		八七二、〇一五
同十六年度	二三、九五〇	八〇、〇〇〇	二三三、二八五	二三一、九六〇	九三、六六〇	一四八、一六〇	七二、〇〇〇		二五〇、七三七
同十七年度	五六、七四七	—	一四三、九九〇	五〇、〇〇〇	一一、六〇〇	一一、六〇〇	一一、六〇〇		一四三、九九〇
同十八年度	—	—	—	—	—	—	—		—
合計	一、〇九三、三七五	八五四、一一二	一、六二八、一〇八	一、二三九、四八〇	一、三五五、〇二四	三一四、八六〇	一八四、五〇〇	一二五、〇〇〇	六、八〇四、四八八

道路改修一般規格

道路有效幅員　九米以上但し山地其の他特殊の箇所に限り四米以内縮少

道路勾配　最急二十五分の一但し特殊の箇所に於ては十五分の一、山地に於ては長七十二米迄十分の一

道路の屈曲半徑　五十五米以上但し特殊の箇所に於ては十一米、人家連擔箇所は此の限に在らず

側溝の深及底幅　三十糎以上

路端の高　水流上面の最高水位より三十糎以上

路面　中央五米迄を限り厚九糎砂利數

橋梁有效幅員　五米

橋梁耐荷重　橋面一平方米に付五百瓲の群衆、八瓲車輛、十一瓲輾壓機、但し區間に依り六瓲車輛に低下

隧道有效幅員　六米以上

隧道　高　路面より四米以上

ロ　其の他の事業

國庫補助に俟たない州又は廳單獨を以て施行する道路事業の、昭和十六年度の豫算額は臺北州一一六、五五〇圓、新竹州三四〇、七九三圓、臺中州六三、二六七圓、臺南州三四九、〇三七圓高雄州三二、六〇〇圓、花蓮港廳一二、〇〇〇圓で、其の豫定する工事の主なるものは左の如くである。

臺北州

一　汐止橋架設工事	八六、九五〇圓
二　得子口橋改修工事	一六、八五〇圓
三　長道抗橋架設工事	八、五〇〇圓
四　其の他橋梁改修工事	四、二五〇圓
新竹州	
一　大溪角板山道改修工事	一七〇、〇〇〇圓
二　絞水上ノ島道改修工事	一〇二、一七五圓
三　竹東上坪道改修工事	四〇、〇〇〇圓
四　通霄銅羅道改修工事	二八、六一八圓
臺中州	
一　橋梁改築其の他工事	六三、二六七圓
臺南州	
一　山地開發道路開鑿工事	一九五、〇〇〇圓
二　橋梁暗渠改修工事	一四五、九九〇圓
三　其の他工事	八、〇四七圓
高雄州	
一　萬年橋改修工事	三二、六〇〇圓
花蓮港廳	
一　上大和臺東道暗渠工事	一〇、〇〇〇圓
二　瑞穗落合道暗渠工事	二〇、〇〇〇圓

附屬統計

一　道路費支出額累年表

年次	國庫	地方費	地方稅特別賦課	計	累計
	円	円	円	円	円
明治二十八年度	—	—	—	六六八、三九四	六六八、三九四
同　二十九年度	六六八、三九四	—	—	二五九、三九六	九二七、七九〇
同　三十年度	二五九、三九六	—	—	一〇〇、三四六	一、〇二八、一三六
同　三十一年度	一〇〇、三四六	?	—	六、二二五	一、〇三四、三六一
同　三十二年度	六、二二五	?	—	五四、六九八	一、〇八九、〇五九
同　三十三年度	五四、六九八	?	—	三九、九九七	一、一二九、〇五六
同　三十四年度	三九、九九七	?	—	二〇、〇〇〇	一、一四九、〇五六
同　三十五年度	二〇、〇〇〇	?	—	五三、九六七	一、二〇三、〇二三
同　三十六年度	五三、九六七	?	—	六〇、〇四〇	一、二六三、〇六三
同　三十七年度	六〇、〇四〇	?	—	六二、〇七一	一、三二五、一三四
同　三十八年度	六二、〇七一	?	—	六〇、一七一	一、三八五、三〇五
同　三十九年度	六〇、一七一	?	—	三一、〇〇七	一、四一六、三一二
同　四十年度	三一、〇〇七	?	—	六六、七四六	一、四八三、〇五八
同　四十一年度	五四九	?	六六、一九七	五四三、八八二	二、〇二六、九四〇
同　四十二年度	四九、五五九	三七九、八六五	一一四、四五八	六六一、六九九	二、六八八、六三九
同　四十三年度	一二七、一二四	四〇一、六三六	一三二、九三九	九四一、五六九	三、六三〇、二〇八
同　四十四年度	三四七、六三三	四二五、九三六	一六八、〇〇〇	一、〇七〇、五〇七	四、七〇〇、七一五
大正元年度	五一三、四二一	三五五、〇八六	二〇二、〇〇〇	八九八、八九〇	五、五九九、六〇五
同　二年度	三八九、六五八	三六四、二三二	一四五、〇〇〇		

附屬統計

大正三年度	二三八,六四四	四六九,六七四	一九八,五〇〇	八九六,八一八	六,四九六,四二三
同四年度	二三三,八二三	三九九,〇八三	一九六,〇〇〇	八二七,九〇五	七,三二四,三二八
同五年度	二三〇,二二〇	四一三,〇〇九	三三四,〇〇〇	八七六,三三九	八,一九〇,五五七
同六年度	三四一,五九二	四四二,二〇九	一九八,〇〇〇	九八二,一〇一	九,一七二,六五八
同七年度	六三四,六〇五	六一〇,一九七	三三一,〇〇〇	一,四七五,八〇三	一〇,六四八,四六〇
同八年度	一,〇二二,四二一	五七七,〇三〇	二六〇,八七〇	一,八五九,三一一	一二,五〇七,七七一
同九年度	一,〇五八,〇六一	九二九,三七〇	三四八,〇〇〇	二,三三五,四三一	一四,八四三,二〇三
同十年度	一,六二六,二五五	八五九,六〇八	—	二,四八五,八六三	一七,三二九,〇六五
同十一年度	八二五,八四五	七〇九,三九六	—	一,五三五,二四一	一八,八六四,三〇六
同十二年度	八九二,六四八	六二三,九九九	—	一,五一六,六四七	二〇,三八〇,九五三
同十三年度	七九五,九八二	五四二,一四二	—	一,三三八,一二四	二一,七一九,〇七七
同十四年度	五五九,一三一	六二三,七四八	—	一,一八一,八七九	二二,九〇〇,九五六
昭和元年度	九六〇,〇三四	六六一,五二九	—	一,六二一,五六三	二四,五二二,五一九
同二年度	一,六〇六,二六六	七一九,八九七	—	二,三三六,一六三	二六,八四八,六八二
同三年度	一,七五九,七六一	一,二〇七,二三〇	—	二,九六六,九九一	二九,八一五,六七三
同四年度	一,四八五,一一三	一,一三二,九七九	—	二,六一八,〇九二	三二,四三三,七六五
同五年度	一,四二九,四九五	一,五五三,七四一	—	二,九八三,二三六	三五,四一七,〇〇一
同六年度	九一四,五七八	一,六九八,七八一	—	二,六一三,三五九	三八,〇三〇,三六〇
同七年度	一,一八八,九七九	二,〇一八,四三三	—	三,二〇七,四一三	四一,二三七,七七三
同八年度	一,五五五,一五八	二,四九三,〇〇六	—	四,〇四八,一六四	四五,二八五,九三六
同九年度	一,四五〇,九二九	二,三〇六,九三一	—	三,七五七,八六〇	四九,〇四三,七九六
同十年度	一,四八七,二三九	三,一九〇,二八六	—	四,六七七,五一五	五三,七二一,三一一

昭和十一年度	二,二四〇,〇一九	二,九七二,一五九	—	五,二一二,一七八	五八,九三三,四八九
同十二年度	二,三四六,五一五	三,二四四,八三八	—	五,五九一,三五四	六四,五二四,八四三
同十三年度	一,七四九,〇八九	四,二五六,二五五	—	六,〇〇五,三四四	七〇,五三〇,一八七
總計	三一,四六四,六四九	三六,五八〇,五七四	二,四八四,九六四	七〇,五三〇,一八七	—
一年平均	四十三年間 七三一,七三六	三十年間 一,二一九,三五三	十三年間 一九一,一五一	—	—

一　本費ニハ軍事費、警察官吏ノ施行ニ屬スル蕃地道路費及市區改正事業ニ屬スル道路費ヲ含マザルモノトス

二　明治三十一年度ヨリ同四十一年度ニ至ル期間ニ於ケル地方費ノ道路事業ニ支出セル費額ハ判明セザルニ付參考トシテ左ニ同期間ニ於ケル地方費土木費ノ總額ヲ揭ク

年次	土木費	累計	年次	土木費	累計
明治三十一年度	?円	—円	明治三十七年度	一二一,二六二円	六五九,三一五円
同三十二年度	?	—	同三十八年度	一七九,五一三	八三八,八二七
同三十三年度	?	—	同三十九年度	二八七,六七八	一,一二六,五〇五
同三十四年度	八七,六五二	八七,六五二	同四十年度	三四一,七八四	一,四六八,二八九
同三十五年度	二一〇,九六〇	二九八,六一二	同四十一年度	二九八,六一八	一,七六六,九〇七
同三十六年度	二三九,四四一	五三八,〇五三			

二 昭和十六年度地方費歲出ト道路費

州及廳	歲出經常部 總豫算額	歲出經常部 道路費	歲出經常部 總豫算額ニ對スル道路費ノ割合	歲出臨時部 總豫算額	歲出臨時部 道路費	歲出臨時部 總豫算額ニ對スル道路費ノ割合	計 總豫算額	計 道路費	計 總豫算額ニ對スル道路費ノ割合
	円	円	割	円	円	割	円	円	割
臺北州	六,〇七四,〇四八	一〇七,五六五	〇,一七七	一〇,二八〇,七六三	四六九,九五〇	四,五七二	一六,三五四,八一一	五七七,五一五	〇,三五三
新竹州	二,九五三,八八三	八五,四一七	〇,二八九	二,三八七,四三〇	五八〇,七九三	二,四三三	五,三四一,三一三	六六六,二一〇	一,二四七
臺中州	四,九四八,七五七	一一九,六四一	〇,二四一	一一,四三三,九五一	七三〇,一二三	〇,六三八	一六,三八二,七〇八	八四九,七六三	〇,五一八
臺南州	六,七三〇,〇一四	二四七,六二四	〇,三六七	六,二八九,五四八	七〇三,三二七	一,一一八	一三,〇一九,五六二	九五〇,九五一	〇,七三〇
高雄州	四,一六〇,一七四	一〇四,五一〇	〇,二六五	四,五八九,四六八	一七三,〇九〇	〇,三七七	八,七四九,六四二	二七七,六〇〇	〇,三一〇
臺東廳	七八六,九三八	二〇,二一二	〇,二九四	一,〇五三,八九二	二九三,一九三	二,七八二	一,八四〇,八〇〇	三一三,四〇五	一,八〇三
花蓮港廳	一,一九九,一四四	一八,八五六	〇,九九一	八六八,八五一	一九七,九三三	二,二七七	二,〇六七,九九五	二二六,七七八	一,〇四八
澎湖廳	四一九,七七八	四,二六五	〇,〇一〇	一三六,六八八	—	—	五四六,四六六	四,二六五	〇,七八〇
總計	二七,二七二,七三六	七〇八,〇九〇	〇,二六九	三七,〇三〇,五六一	三,一四八,三九七	〇,八五〇	六四,三〇三,二九七	三,八五六,四八七	〇,六七九

三 各年末道路延長及坪數

年次	延長 幅一間未滿	延長 幅二間未滿	延長 幅三間未滿	延長 幅四間未滿	延長 幅四間以上	延長 計	坪數
	里丁間	里丁間	里丁間	里丁間	里丁間	里丁間	坪
明治二十八年	—	—	—	—	—	?	?
同二十九年	—	—	—	—	—	?	?
明治三十年	—	—	—	—	—	?	?
同三十一年	—	—	—	—	—	?	?
同三十二年	一二〇九・一二・〇三	三三〇・二九・〇七	八七・一〇・二六	四五・一八・四七	四一・三〇・〇六	一七一四・二八・三一	?
同三十三年	一二一九・二九・二六	三五一・三三・〇一	一〇七・一六・〇九	四一・一九・三五	三八・二三・一八	一七五九・一三・三九	二,五〇六,〇九八
同三十四年	一三二二・三五・一三	四四七・〇四・一〇	一一五・〇九・二二	五〇・〇五・四六	二九・〇五・一三	一九六四・二三・四二	四,七二三,〇七〇
同三十五年	一四五一・二七・二九	四五七・一三・五五	一二八・〇二・五〇	五三・〇四・〇三	二九・一七・一三	二一一九・二九・四〇	五,一一七,九二三
同三十六年	一四〇九・一四・五三	七三一・〇八・〇一	二〇七・二八・三三	八〇・〇四・二八	二〇・一八・一七	二四四九・〇三・〇三	六,〇六九,三七一
同三十七年	一一八八・〇九・四一	八八三・二三・四二	二四三・一〇・〇四	九〇・〇三・三五	二三・三〇・三三	二四二九・〇三・三四	四,三一五,〇一九
同三十八年	一一五九・一二・二四	九三九・〇九・二八	三九四・〇四・三五	一四〇・〇三・五六	八三・一六・四六	二七一六・一〇・〇六	八,三〇四,六〇〇
同三十九年	一一四五・一〇・四一	九七七・二五・一六	四二〇・三二・三八	一四二・三一・一五	八五・一一・〇一	二七七二・〇三・四九	八,五一七,四五五
同四十年	一一四三・〇〇・四一	九五八・三五・四二	四五三・〇〇・一〇	一四〇・〇一・三五	八九・〇五・三七	二七八四・〇七・四五	八,七三七,八三一
同四十一年	一一三九・一三・〇五	九五〇・三五・四一	四五四・三一・〇九	一三六・三五・三三	八一・一八・二七	二七六三・三五・三五	七,七七四,八五六
同四十二年	一〇九七・三五・〇九	一〇九九・二八・一七	四九八・二七・二〇	一六〇・〇一・二一	八二・二九・〇五	二九三九・一三・一三	九,四二九,五七六
同四十三年	一一六一・〇六・二五	一一四二・三〇・五六	五一七・二三・〇七	一二七・三三・一七	四〇・〇八・〇五	三〇八九・二九・四九	八,八九九,一四三
同四十四年	一一三八・二六・二一	一一二二・二五・五四	五九五・〇五・〇四	一〇九・一六・四五	五八・三二・四〇	三〇二四・三四・四二	八,八六八,七二三
大正元年	一一三八・三三・四六	一一三〇・〇九・〇六	六〇二・〇三・二三	一一八・〇三・〇〇	四二・二七・〇七	三〇二二・〇三・二〇	八,九三八,九三四
同二年	一一四〇・〇三・二一	一一一六・二七・一九	六〇九・二〇・一五	一三一・一八・二三	三五・三四・四一	三〇三三・三一・五七	八,九九六,五〇八
同三年	一一三三・一〇・〇〇	一一一四・一八・〇八	六二一・三四・二六	一三一・三三・〇一	七一・一九・三七	三〇七一・三三・一一	九,三六〇,九八五
同四年	一一三二・〇九・四四	一一〇八・〇五・四七	六三二・〇〇・〇二	一三七・一七・四八	七五・〇一・五九	三〇八四・三五・一八	九,四六六,三四八
同五年	一一三八・〇〇・四三	一一〇六・〇四・三三	六三四・三〇・四九	一四〇・〇三・二六	七七・二四・三二	三〇八六・二八・〇〇	九,五二九,三三四
同六年	一一三八・〇〇・四二	一一一三・二一・四九	六三九・二八・〇三	一四〇・〇三・一六	八〇・三四・三一	三一〇三・一六・二〇	九,六一五,三五五
同七年	一一三八・〇〇・四三	一一一四・三三・〇九	六五〇・三〇・二七	一四〇・〇一・三〇	八二・〇九・二九	三一一六・〇五・一七	九,六八二,〇八三

同八年	一二三八・〇〇・四三	一二一四・一八・〇八	六五一・〇九・三〇	一四〇・三〇・二三	八三・一八・三一	三二一八・〇五・一四	九、六一四、一五三
同九年	一〇八七・三〇・二〇	一二四五・〇〇・〇九	六五〇・二八・一四	一四五・〇八・〇八	一〇八・二六・一六	三一三七・二一・〇六	一〇、三八〇、八五〇
同十年	一三三九・一七・二〇	一一八三・三四・三六	七六七・〇三・四五	一六三・一九・四一	一七四・〇六・二〇	三五二八・〇八・四九	一三、二四六、六三四
同十一年	一三一三・〇〇・二九	一二七六・二五・一九	七八七・一一・一一	一九一・〇四・三〇	一九七・〇六・一三	三六六五・一一・四〇	一三、三三〇、四七九
同十二年	一三一三・三五・二六	一三七四・〇八・四一	七七九・三三・一三	一九〇・三三・三四	二〇四・〇〇・三三	三六六二・二八・二七	一三、五九七、四〇一
同十三年	一三〇九・二五・三三	一三五六・一九・〇八	七六六・〇九・四一	一九三・〇四・〇九	二六五・一一・一四	三六九〇・二四・三四	一四、〇七三、六一五
同十四年	一三三六・一三・二一	一三四三・二九・三六	七八一・三五・〇三	二二二・三三・三九	二八七・三四・四八	三七六三・〇二・二七	一四、三八八、五七〇
昭和元年	一三三七・一六・三〇	一三二〇・一五・四三	七九九・二一・一二	二五一・三一・四九	三〇六・〇〇・三三	三八〇五・一三・三六	一五、二五四、六七八
同二年	一二七八・三五・四一	一一九九・二九・〇〇	八〇〇・二一・五四	二五五・三四・五三	三三一・〇九・四七	三七六六・二三・一五	一五、五七〇、四一三
同三年	一二三五・〇三・二八	一二〇三・二一・四三	七九二・〇一・一五	三一〇・三三・三三	四一八・二七・一八	三八五〇・〇五・一八	一六、二六七、三六四
同四年	九三三・一九・三九	一一四五・二〇・五九	八二七・三三・一三	三三二・〇七・五〇	五五五・一六・一八	三七八三・二四・五九	一七、七五二、二七三
同五年	九二一・〇四・五七	一〇八一・一三・五八	八二四・一三・一七	三九一・二九・四六	六一六・二三・二六	三八四五・一一・二四	一八、二〇二、七七八
同六年	八三一・一三・二八	一〇五二・二三・一三	八四三・一一・〇三	四〇〇・一二・二七	六六四・二六・一二	三七八二・一四・二〇	一八、五五五、四六二
同七年	七七六・〇八・一六	一一二一・一〇・三九	八三八・二〇・二九	三九七・二五・三三	六九五・二九・五一	三八二九・三三・四八	二二、二四七、〇八八
同八年	七三八・二六・五五	一〇三七・二三・四五	七九二・一八・四五	四六一・〇五・一八	九六八・一七・五〇	三九九八・二〇・三三	二五、八八五、三九一
同九年	七三一・二九・二七	九八五・〇七・四九	七六六・〇七・〇〇	四九一・一七・〇七	一〇七五・二三・五一	四〇五〇・〇二・一四	二六、三八五、〇八七
同十年	七七七・三五・二五	九八八・一九・二四	七八九・二六・二七	五一〇・二九・五七	一一三四・二〇・二九	四二〇一・三三・四〇	二八、〇六九、一二〇
同十一年	七五〇・二八・二八	九三九・一九・三一	七九七・一九・二七	五〇八・一八・四二	一三二七・〇四・四五	四三二三・一八・五三	三一、四四一、八六一
同十二年	六七二・三四・四〇	九二四・一八・二四	七四六・二二・五一	五三三・三三・一二	一四五三・〇九・五一	四三一九・〇六・五八	二七、九三二、九九五
同十三年	六八七・一二・三三	八八七・一五・三三	七七一・一〇・一九	五五六・二五・四五	一五九七・二〇・一八	四五〇〇・一三・二七	二九、五九八、八八八
同十四年	六六〇・二三・一〇	八六五・〇一・三九	七六〇・〇三・三五	五六七・〇〇・三七	一六〇八・〇七・三七	四四六〇・三四・四八	三〇、三八三、〇二四

一　本表ニハ田園ノ朧路ヲ算入セズ以下同ジ

二　本表ノ數字ハ臺灣總督府統計書ニ依ル以下同ジ

四、昭和十四年末地方別道路延長及坪數

州及廳	延長 幅一間未満 (里町間)	延長 幅二間未満 (里町間)	延長 幅三間未満 (里町間)	延長 幅四間未満 (里町間)	延長 幅四間以上 (里町間)	延長 計 (里町間)	坪數 (坪)
臺北州	二七〇・〇九・一〇	一四四・〇九・〇三	九七・〇四・二六	七三・〇五・四一	二五・〇八・〇五	七〇〇・〇〇・二四	三、六八六、三七一
新竹州	一八六・三四・〇八	三一四・一五・四三	一三五・二五・二一	一二四・一一・一七	一五一・二二・三六	九三三・〇一・〇五	五、二七二、三七四
臺中州	六四・〇四・四〇	一四一・一一・五三	一八八・三〇・五三	一四六・〇九・一八	一八二・〇七・二四	七三三・二八・〇六	四、三〇六、一三五
臺南州	七八・二五・一八	一六三・一一・四三	一七五・〇八・三九	一五一・二七・一九	八〇七・一八・〇〇	一・三七六・一八・五九	一一、五五四、〇四一
高雄州	三九・二三・〇三	六三・三五・一三	八九・〇五・三七	三〇・三一・二二	二八八・〇三・三六	五一〇・三〇・四九	四、〇四六、一八三
臺東廳	—	一〇・三三・一四	七・二三・一八	五九・一〇・五三	一六・一五・〇三	一〇四・〇八・一八	四二一、七七八
花蓮港廳	二〇・二三・三五	一五・一三・四〇	二二・二〇・四〇	一三・一〇・一三	四三・三五・五〇	一二四・三一・五七	八三七、八〇一
澎湖廳	〇・一〇・二七	一三・一六・一三	二四・二八・四三	八・一八・〇七	三・〇一・〇三	四〇・〇二・三一	二五八、三四三
總計	六六〇・二三・一〇	八六五・〇一・三九	七六〇・〇二・三五	五九七・一六・〇八	一・六〇八・〇七・三七	四・四九一・一四・一九	三〇、三八三、〇二四

五　各年末橋梁箇所、延長及坪數

年次	箇所 長五間未滿	箇所 長五間以上	箇所 長二十間以上	箇所 長五十間以上	延長（間）	坪數（坪）
明治二十八年	?	?	?	?	?	?
同二十九年	?	?	?	?	?	?
同三十年	?	?	?	?	?	?
同三十一年	?	?	?	?	?	?
同三十二年	一,三七八	|	|	|	六,四一三	?
同三十三年	一,七八三	|	|	|	七,五五七	五,四八一
同三十四年	一,九九二	|	|	|	九,五一〇	七,二七八
同三十五年	二,二二一	|	|	|	九,八一三	七,九八七
同三十六年	三,五三六	|	|	|	一一,二三六	一一,五三九
同三十七年	三,三三九	三一五	六九	七	一三,七一五	一四,五八〇
同三十八年	三,八一八	四〇〇	七三	一四	一四,七七六	一六,七四六
同三十九年	四,〇二六	四三八	七五	一五	一六,四六三	一八,九五九
同四十年	四,一八八	四五〇	八一	七	一七,一六九	一九,八七二
同四十一年	四,五七三	四八三	八四	七	一八,四〇四	二〇,九一三
同四十二年	五,〇一三	五六九	一〇四	六	二〇,六二三	二三,四八七
同四十三年	五,六九三	七〇二	一四三	六五	二七,九九五	三八,四三二
同四十四年	七,一六四	九一三	一三九	六八	三〇,一三五	四三,一〇九
大正元年	七,二三三	九一四	一三九	六八	三〇,三七二	四三,五〇五
同二年	七,三七〇	九三一	一三九	六九	三一,〇八二	四四,六一一
同三年	七,三三〇	九四四	一四六	七七	三三,五八四	四五,二八〇

年次	箇所 長五間未滿	箇所 長五間以上	箇所 長二十間以上	箇所 長五十間以上	延長（間）	坪數（坪）
同四年	七,三五一	九五五	一四七	七六	三三,七八〇	四六,〇六七
同五年	七,三八二	九四九	一四三	七五	三四,一〇八	四六,九三三
同六年	七,五一九	一,〇〇一	一四九	七七	三五,〇八二	四八,四三二
同七年	七,五三八	二,〇三三	一四八	八〇	三五,五四五	三二,三〇五
同八年	七,五六三	一,〇三八	一五〇	八二	三五,八三五	五〇,一二五
同九年	六,八四二	一,一八三	一六四	九〇	三七,五八八	五五,七四九
同十年	七,二〇二	一,四二一	一二五	二五	三〇,二六一	五〇,九三一
同十一年	七,四三八	一,一四〇	一三二	二七	二九,三四三	五四,四五一
同十二年	六,四六〇	一,一四六	一三五	三〇	二九,九七三	五五,七九五
同十三年	六,六〇八	一,一九一	一三八	三一	三二,九四〇	五七,七六〇
同十四年	六,六三〇	一,二二七	一四七	三九	三五,四〇二	五五,六七三
昭和元年	六,八一三	一,三三三	一五三	四二	三七,三〇四	五五,六九七
同二年	六,九七八	一,三八八	一六九	四一	四四,三五四	六〇,九八〇
同三年	六,九九八	一,三五一	一六二	四三	四二,六九九	六二,五四四
同四年	七,五六八	一,二九七	二〇三	四六	五〇,八七八	七六,八〇五
同五年	七,一〇八	一,三三〇	二三〇	五三	四八,六〇七	七一,四二六
同六年	七,一五四	一,三七四	二〇一	六〇	五三,三五九	七一,七五〇
同七年	六,八二二	一,三一五	二二三	六九	四六,一四〇	八三,三四二
同八年	六,九九三	一,三五三	二四〇	七九	四七,九二六	八八,五八三
同九年	七,三五三	一,四一九	二六〇	八五	五〇,七三三	八八,九三五
同十年	七,三一一	一,四二五	二七五	八二	五一,一三三	九三,〇八一
同十一年	七,八〇一	一,四六三	二八五	九一	五〇,五九〇	九六,一六七

六　昭和十四年末地方別橋梁箇所、延長及坪數

州及廳	箇所			延長			坪數		
	長五間未滿	長五間以上長二十間以上	長二十間以上長五十間以上	長五間未滿	長五間以上長二十間以上	長二十間以上長五十間以上	長五間未滿	長五間以上長二十間以上	長二十間以上長五十間以上
	箇所	箇所	箇所	間	間	間	坪	坪	坪
臺北州	九五八	二六七	二五	七、五六一	一、五五九	六三〇	一五、九五三	三、三〇七	一、三〇五
新竹州	九四七	二九九	六三	九、一八五	一、五三三	七四〇	一七、五八九	三、〇七八	一、四〇八
臺中州	二、六三	二五八	七四	一四、四八八	一、八七〇	七〇	三一、九九四	五、三〇七八	一、四〇八
臺南州	二、一四七	五二五	一五二	一四、五五二	三、九九四	四七	三一、九九四	五、三〇七八	一、四〇八
高雄州	九七三	一五二	七四	八、二一一	一、五五〇	二八	一四、五五二	五、三〇七八	一、四〇八
臺東廳	二八一	七四	二八	二、六四二	一、七五〇	八	四、九二四	一、七五〇	一、四〇八
花蓮港廳	二七	二五	三	八七一	三〇六	二	一、七五〇	三〇六	一、四〇八
澎湖廳	二七	—	—	八七一	—	—	一、七五〇	—	—
總計	八、三三	一、三〇〇	三一五	七八、三五	一、五三三	一〇八	一〇八、〇九三	一、二六	九二、八三〇

七　各年度道路新設延長

年度	幅一間未滿	幅二間未滿	幅三間未滿	幅四間未滿	幅四間以上	計
	間	間	間	間	間	間
明治四十三年度	一	三、〇八二	三、四七六	一、三八〇	二、九〇九	二〇、九〇七
同四十四年度	—	四	八、一二一	—	八八	八、二一三
大正元年度	三、三〇〇	二、一五〇〇	一三、一六二	一、八三〇	三、四二八	三三、二七一
同二年度	—	—	—	三七八	四、七〇八	五、〇八六
同三年度	一〇〇八〇	—	三、五三二	二一五	三、四七五	一七、二六三
同四年度	—	九四九五	一五、一七一	六、三三三	七、六三四	三八、六三二
同五年度	—	一〇三	一五、二一七	二三五	七、七一六	三三、二七一
同六年度	—	二、九六一	九、六九四	—	三、一〇九	一二、八〇三
同七年度	—	—	三一、七七六	—	二、九八六	二七、七二三
同八年度	—	一二九	一九、九〇八	—	三、〇一四	二三、〇四一
同九年度	—	—	二二、九二八	—	一〇、六五〇	三二、五七八
同十年度	一、八一六	五四一	八、七九八	二八三	二一、〇一四	三二、四五一
同十一年度	—	二、九四七	一一、四四八	五、七九一	一、七九九	二一、九八五
同十二年度	五	六	一一、三一八	七	四〇〇	一、七二六
同十三年度	一三	—	八八五	一〇〇	一、八七〇	二、八七七
同十四年度	—	八三	二、七三三	—	一、五五九	四、二九二
昭和元年度	—	二、八一七	五、七七一	五七一	二八九	六、七一九
同二年度	八〇	三、八一七	一〇、七九〇	六〇〇	二、一一八	一二、八〇五
同三年度	八〇	二、七二〇	九、五八七	三、四二六	三、一八四	一八、九九七
同四年度	—	四八一〇	五、六八七	一、〇〇八	六九三	一三、四九八

八　昭和十三年度地方別道路新設延長

州廳別	幅一間未滿	幅二間未滿	幅三間未滿	幅四間未滿	幅四間以上	計
澎湖廳	一四	一六五	一五一	一	一	三三六
花蓮港廳	一	一	一	一	一	四
臺東廳	一	一	一	一	一	四
高雄州	一	一	一	一	一	一
臺南州	一	三五四	三四七	一三五	一	七三九
新竹州	一	一	一	一	一	一
臺中州	一	一	一	一	一	一
北州	一	一	一	一	一	一
廳	一	一	一	一	一	一
計	一四	一六五	一五一	一	一	三三六

九　各年度道路改築延長

年度	幅一間未滿	幅二間未滿	幅三間未滿	幅四間未滿	幅四間以上	計
同明治四十三年度	一	一	一	一	一	一
同四十四年度	一	一	一	一	一	一
同大正元年度	一	一	一	一	一	一
同二年度	一	一	一	一	一	一
同三年度	一	一	一	一	一	一
同四年度	一	一	一	一	一	一
同五年度	一	一	一	一	一	一
同六年度	一	一	一	一	一	一
同七年度	一	一	一	一	一	一
同八年度	一	一	一	一	一	一
同九年度	一	一	一	一	一	一
十年度	一	一	一	一	一	一
十一年度	一	一	一	一	一	一
十二年度	一	一	一	一	一	一
十三年度	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一

昭和元年度	—	五五四	一八、六四二	三六、一七四	二七、八二六	八三、一九六
同二年度	九、一二八	一四、三八一	一三、二五七	三九、五七九	三三、二七〇	一〇九、六一五
同三年度	七、二九一	三三、四五三	五五、八七七	四一、六〇六	六三、四七二	二〇一、六九九
同四年度	—	九、〇〇五	二二、九五八	一〇、六九九	五九、一四二	一〇〇、八〇四
同五年度	—	一一、一四八	二七、四七三	三二、〇一一	七五、五五八	一四六、一九〇
同六年度	四、四六一	七、四一四	一四、二九六	一二、三八八	四七、四五七	八六、〇一六
同七年度	二七五	一三、二九四	六、三九三	五、七二一	五八、九二六	八四、六〇九
同八年度	一、二五九	七、五八五	六四、一〇〇	九九、六七九	一、三〇〇、〇七五	一、四七二、六九八
同九年度	三、五〇九	一一、九七六	六、五七一	一二二、二五六	一一六、二四〇	二六〇、五五二
同十年度	九五、四一九	八〇、二七二	八九、六八九	一一三、七九二	七四、九二三	四五四、〇九七
同十一年度	二、〇四二	八、六三二	一〇、三五四	七九、一二九	一五一、七四七	二五一、九〇二
同十二年度	二、四七九	三、四〇一	九、一八二	三四、九三三	一三一、五九六	一八一、五九一
同十三年度	一四九	四、九六五	一五、〇四二	四八、七三〇	一一二、九五九	一八一、八四五

一〇　昭和十三年度地方別道路改築延長

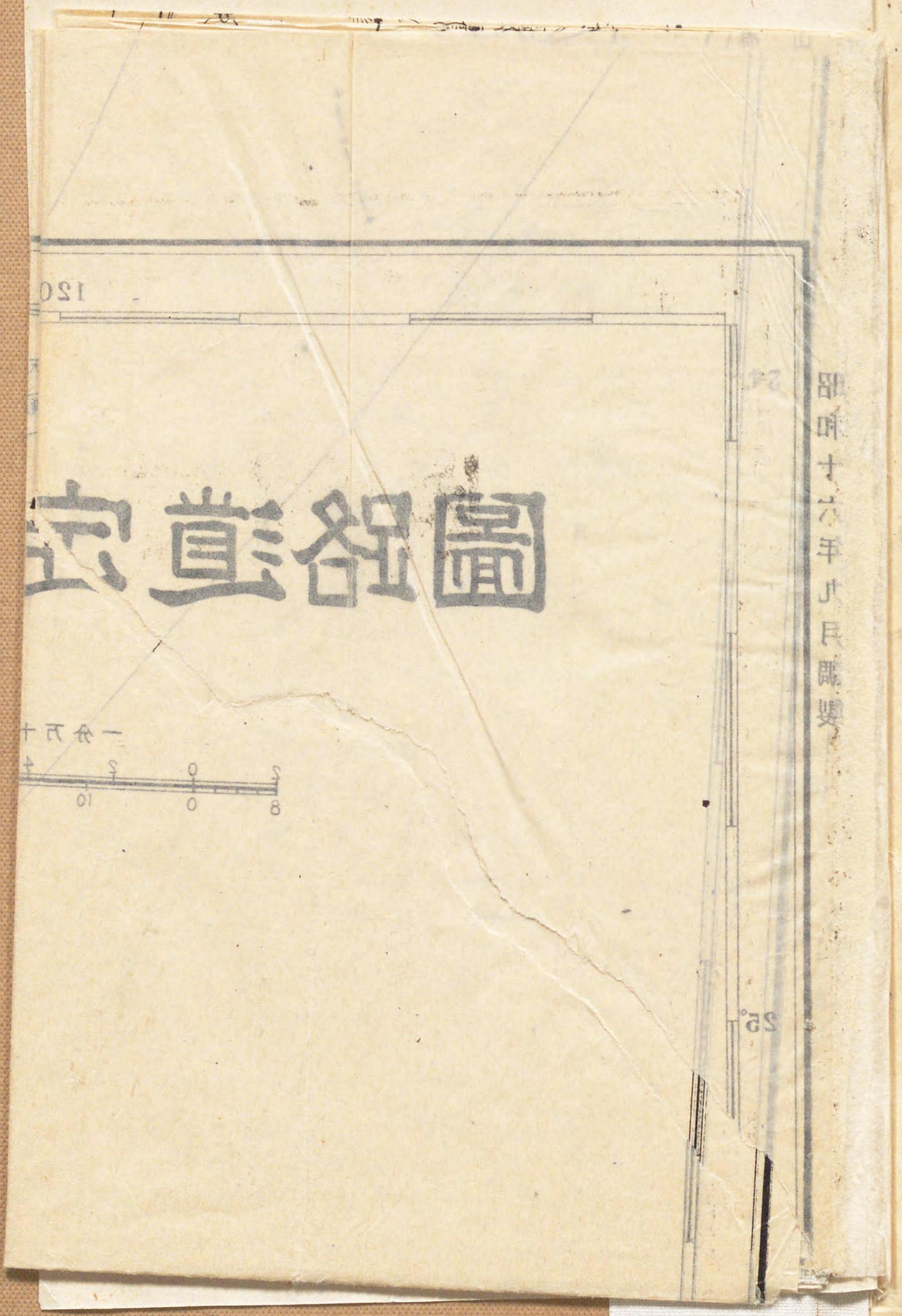
州廳別	幅一間未滿	幅二間未滿	幅三間未滿	幅四間未滿	幅四間以上	計
臺北州	一間	七二〇間	二、〇一〇間	一、〇二九間	四、四五九間	八、二一八間
新竹州	—	一、五七五	八、二二五	一一、四八九	六、四七〇	二七、七五九
臺中州	—	—	—	—	—	—
臺南州	一四九	—	二、〇二七	一七、一九一	七九、八〇〇	九九、一六七
高雄州	—	—	八〇	四、七四〇	一五、〇一二	一九、八三二
臺東廳	—	—	—	四、三二〇	二、七九五	七、一一五
花蓮港廳	—	二、六七〇	二、七〇〇	九、九六〇	四、四二三	一九、七五三
澎湖廳	—	—	—	—	—	—
總計	一四九	四、九六五	一五、〇四二	四八、七三〇	一一二、九五九	一八一、八四五

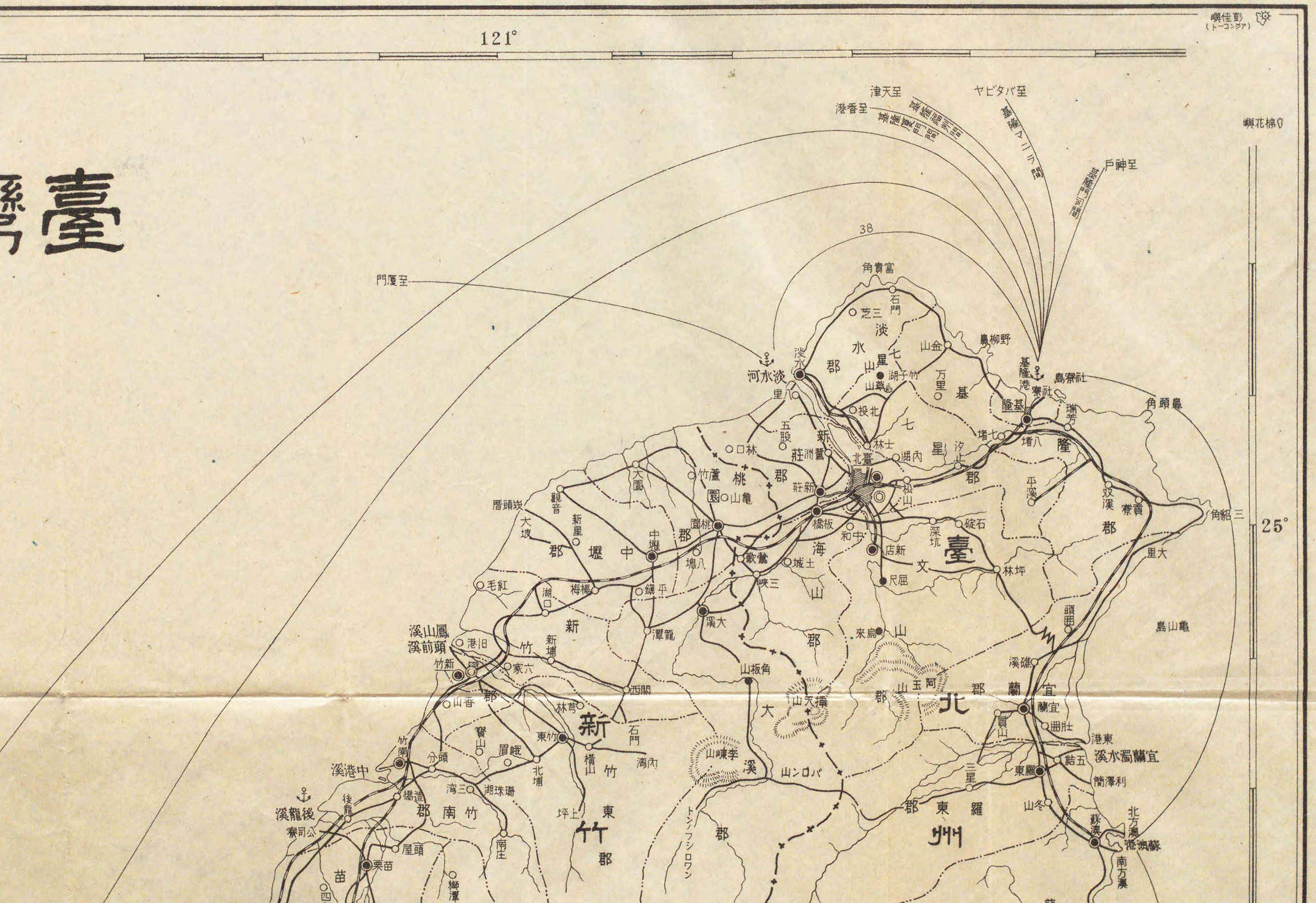
昭和十六年九月十八日印刷
昭和十六年九月二十日發行

臺灣總督府交通局道路港灣課

臺北市榮町二丁目四番地
印刷人　江里口利三郎

臺北市榮町二丁目四番地
印刷所　江里口印刷工場





臺灣
121°
25°
彰佳嶼
(トーコンジア)
棉花嶼
至天津
至香港
至ヤビタバ
至戸神
至厦門
38
富貴角
石門
三芝
淡水郡
七星山
金山
鼻柳野
淡水
河水淡
八里
五股
新莊
鷺洲
林口
蘆竹
桃園
大園
亀山
北臺
湖內
士林
松山
平溪
基隆
基隆港
寮社
島寮社
瑞芳
角頭鼻
堵七
堵八
汐止
七星郡
基隆郡
双溪
寮貢
角貂三
大里
深坑
碇石
新店
和中
橋板
歌鶯
城土
三峽
塊八
中壢
桃園
新星
大坡
觀音
厝頭崁
中壢郡
海山郡
文山郡
臺北
林坪
尺屈
頭田
島山亀
烏來
溪大
潭龍
平鎮
梅楊
湖口
毛紅
新竹郡
新埔
六家
旧港
鳳山溪
頭前溪
竹新
香山
西關
林芎
東竹
石門
湾內
新竹郡
寶山
眉峨
北埔
珊珠湖
湾三
分頭
竹南
中港溪
後龍溪
後龍
橋造
寮司公
竹南郡
屋頭
栗苗
苗
四
獅潭
南庄
坪上
東竹郡
山板角
大山
李崠山
溪
山ロバ
トンノフシロワン
郡
山玉阿
山天揮
北宜蘭郡
宜蘭
員山
田壯
港東
宜蘭濁水溪
結五
簡澤利
三星
東羅
羅東郡
山冬
蘇澳
北方澳
蘇澳港
南方澳
島寮社
角頭鼻
三貂角
大里
島山亀
溪礁

昭和十六年九月調製

120°

121°

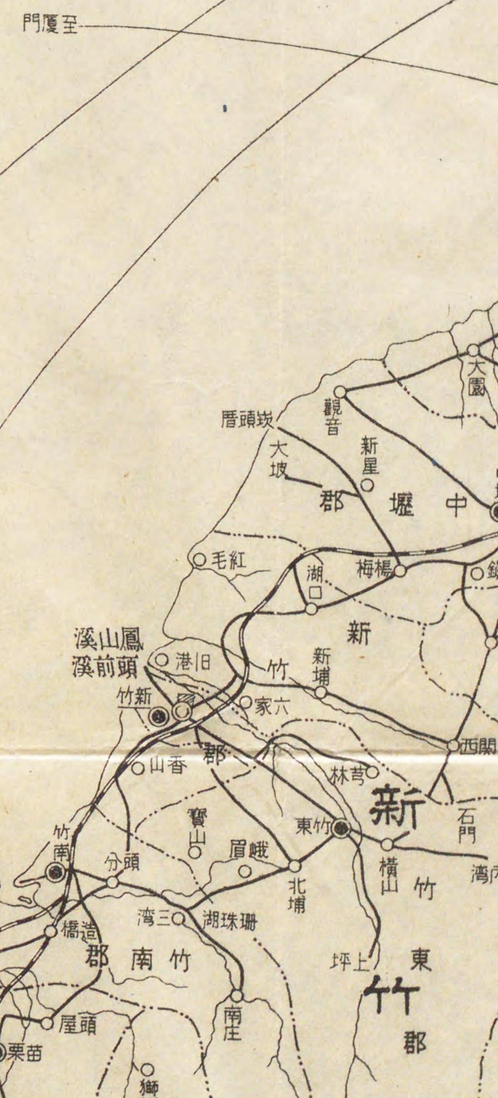
臺灣指定道路圖

一分万十六尺縮

2 0 2 4 6 8 10里

8 0 10 20 30 40米吉

25°

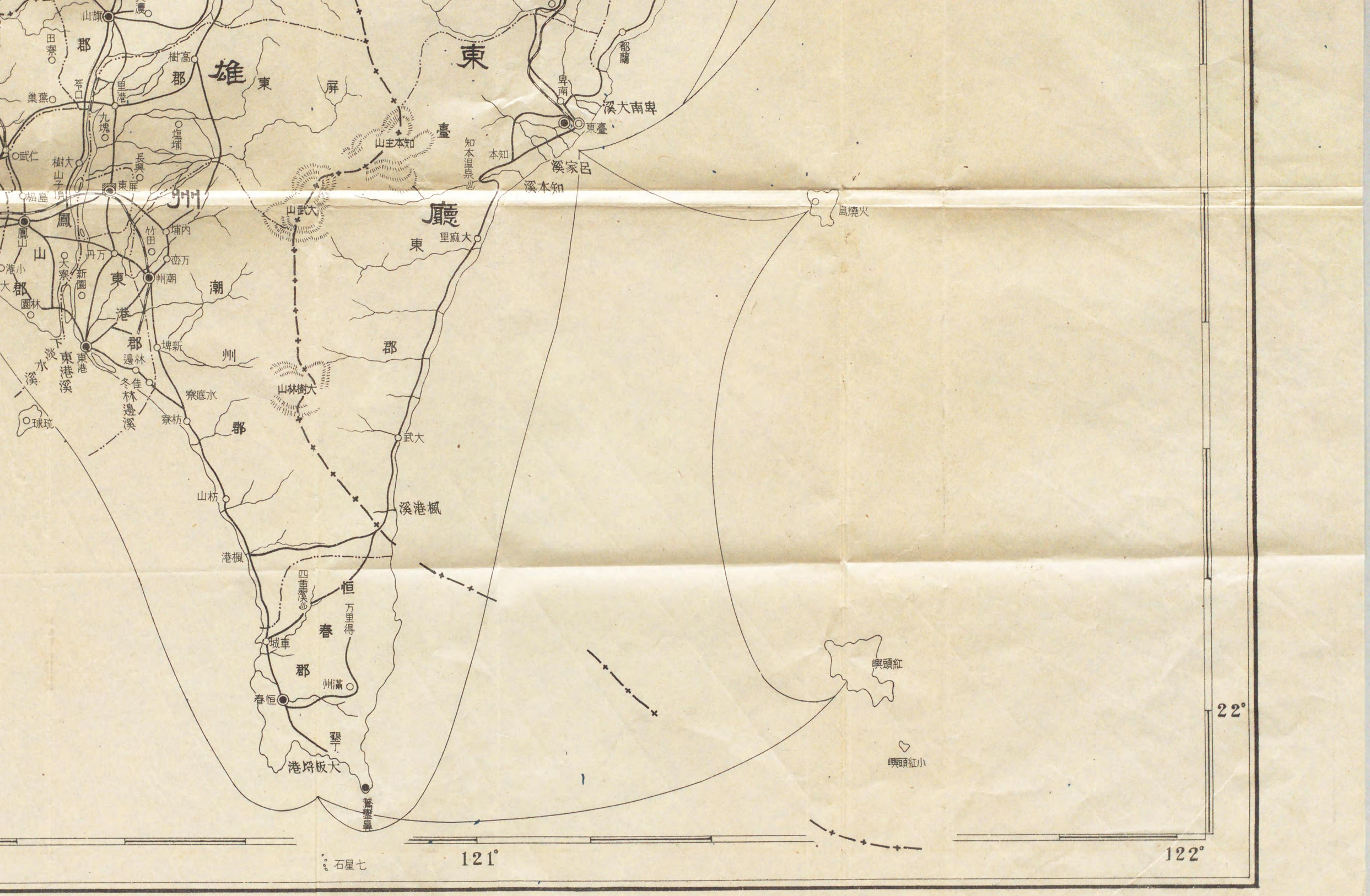


新竹州
北竹郡
東竹郡
南竹郡
苗栗郡
大湖郡
中州
臺中郡
東勢郡
能高郡
南投郡
北斗郡
員林郡
彰化郡
大甲郡
豐原郡
臺中
大屯郡
化
臺
高
新
北
宜蘭郡
東羅州
蘇澳郡
中
花蓮港
花蓮郡
中央
鳳林郡
新高郡
廳
臺東
24°

24°
新竹州
竹東郡
竹南郡
苗栗郡
大湖郡
大甲郡
豐原郡
東勢郡
大屯郡
彰化郡
員林郡
北斗郡
南投郡
竹山郡
斗六郡
虎尾郡
北港郡
新高郡
臺中州
澎湖

臺南州
臺東廳
臺東州
臺灣
嘉義郡
新高郡
竹山郡
東港郡
恒春郡
屏東郡
潮州
旗山
關山
玉里
鳳山
新化
新營
佳里
北港
東港
林邊
枋寮
大武
知本溫泉
知本
呂家溪
卑南大溪
卑南
東臺
都蘭
鹿野
關山
富里
玉里
瑞穗
大港口
秀姑巒溪
長濱
新港
馬太鞍
新社
林鳳
鹿谷
竹山
林內
桐林
二崙
虎尾
斗南
六斗
土庫
大埤
古坑
林內
溪口
新港
民雄
小梅
竹崎
嘉義
番路
上水
內角
中埔
草店
白河
後壁
番社
前大埔
關子嶺
大埔
柳營
六甲
田官
西楠
玉井
大內
甲仙
南化
左鎮
林杉
六龜
龍崎
內門
美濃
山旗
田寮
高樹
里港
九塊
鹽埔
長興
東屏
仁武
大樹
山子頂
東屏
松島
鳳山
竹田
內埔
丹
恆春
新園
林園
潮州
下淡水
東港
林邊
新埤
山公石大
山大東
山大東
山高對
山關八通
山高新
山玉南
山雲峯
山面南
山關
山主南卑
山主本知
山武大
山火燒島
山大麻里
山大武
山潮州
山

澎湖廳
澎湖島
白沙島
白沙
漁翁島
西嶼
公馬
澎湖
西湖
虎井嶼
望安
望安島
馬公支廳
23°
臺灣
新竹州
臺中州
臺南州
高雄州
花蓮港廳
臺東廳
新竹郡
竹山郡
苗栗郡
大湖郡
公館
銅鑼
三義
西湖
卓蘭
中港
通霄
苑裡
後龍
竹南
頭份
三灣
南庄
獅潭
新竹
香山
湖口
竹東
橫山
關西
北埔
峨眉
寶山
尖石
五峰
臺中郡
豐原
葫蘆墩
大里
太平
霧峰
烏日
大肚
沙鹿
龍井
梧棲
大甲
外埔
大安
后里
東勢
和平
新社
中寮
南投郡
草屯
名間
集集
水里
魚池
埔里
國姓
能高
竹山
鹿谷
集集
林內
斗六郡
斗六
古坑
虎尾郡
虎尾
土庫
北港
四湖
口湖
新港
東石郡
朴子
布袋
義竹
鹿草
溪口
大林
民雄
梅山
竹崎
阿里山
嘉義郡
嘉義
番路
上水
中埔
內角
草店
白河
關子嶺
大埔
新營
後壁
柳營
前大埔
鹽水
急水溪
北門
學甲
將軍
麻豆
下營
六甲
會文
官田
西港
七股
善化
安定
大內
山上
玉井
南化
左鎮
新化
新市
仁德
歸仁
關廟
龍崎
內門
山旗
美濃
杉林
六龜
甲仙
高雄港
旗山
旗山郡
內湖
竹路
阿蓮
田寮
岡山郡
燕巢
茄苳
里港
屏東郡
高樹
九塊
鹽埔
長興
屏東
大樹
仁武
楠梓
松島
鳳山
鳳山郡
大寮
新園
林園
東港郡
東港
林邊
枋寮
枋山
恆春
恆春郡
滿州
車城
牡丹
竹田
內埔
萬丹
潮州
崁頂
新埤
佳冬
南州
琉球嶼
東沙島
東沙群島
至廣東
至香港
高雄橫濱航路
高雄神戶航路
淡水
關山
關山郡
池上
鹿野
卑南
卑南郡
知本
知本溫泉
溪本知
溪家巳
山主本知
山武大
山主南卑
山南面
山關
山玉南
山高新
山通八關
山高對
山大水寶
山大巒東
山大郡東
山巒秀姑
山スラホ
里麻大
里港
里佳
里安
里平
里仁
里興
里溪
里崙
里林
里園
里埔
里田
里官
里寮
里燕
里巢
里塘
里路
里崎
里梅
里溪口
里湖
里脚六
里石東
里子朴
里溪子朴
里溪掌八
里溪水急
里溪交曾
里溪水鹽
里溪行二層
里溪港北
里港新
里港北
里港
里溪口
里湖口
里湖內
里路竹
里岡
里陀彌
里巢燕
里茄苳
里寮田
里官田
里園林
里埔林大
里寮新
里營
里營下
里營鳳林
里營柳
里營新
里營番社
里營後壁
里營前大埔
里營關子嶺
里營大埔
里營內角
里營中埔
里營白河
里營草店
里營上水
里營番路
里營嘉義
里營竹崎
里營梅小
里營民雄
里營大林
里營溪口
里營新巷
里營北港
里營水林
里營新港
里營口湖
里營四湖
里營長元
里營土庫
里營虎尾
里營南斗
里營六斗
里營林內
里營竹山
里營鹿谷
里營谷鹿
里營新



東
廳
雄
州
東
屏
臺
東
潮
州
郡
恒
春
郡
鳳
山
郡
東港
郡
東港溪
下淡水溪
林邊溪
大武山
大樹林山
知本主山
知本溫泉
本知
溪本知
溪家呂
溪大南卑
卑南
東臺
都蘭
大麻里
大武
溪港楓
港楓
四重溪
万里得
城車
滿州
春恒
墾丁
大板埒港
鵞鑾鼻
嶼頭紅
小紅頭嶼
火燒島
七星石
121°
122°
22°

臺灣總督府交通局道路港灣課

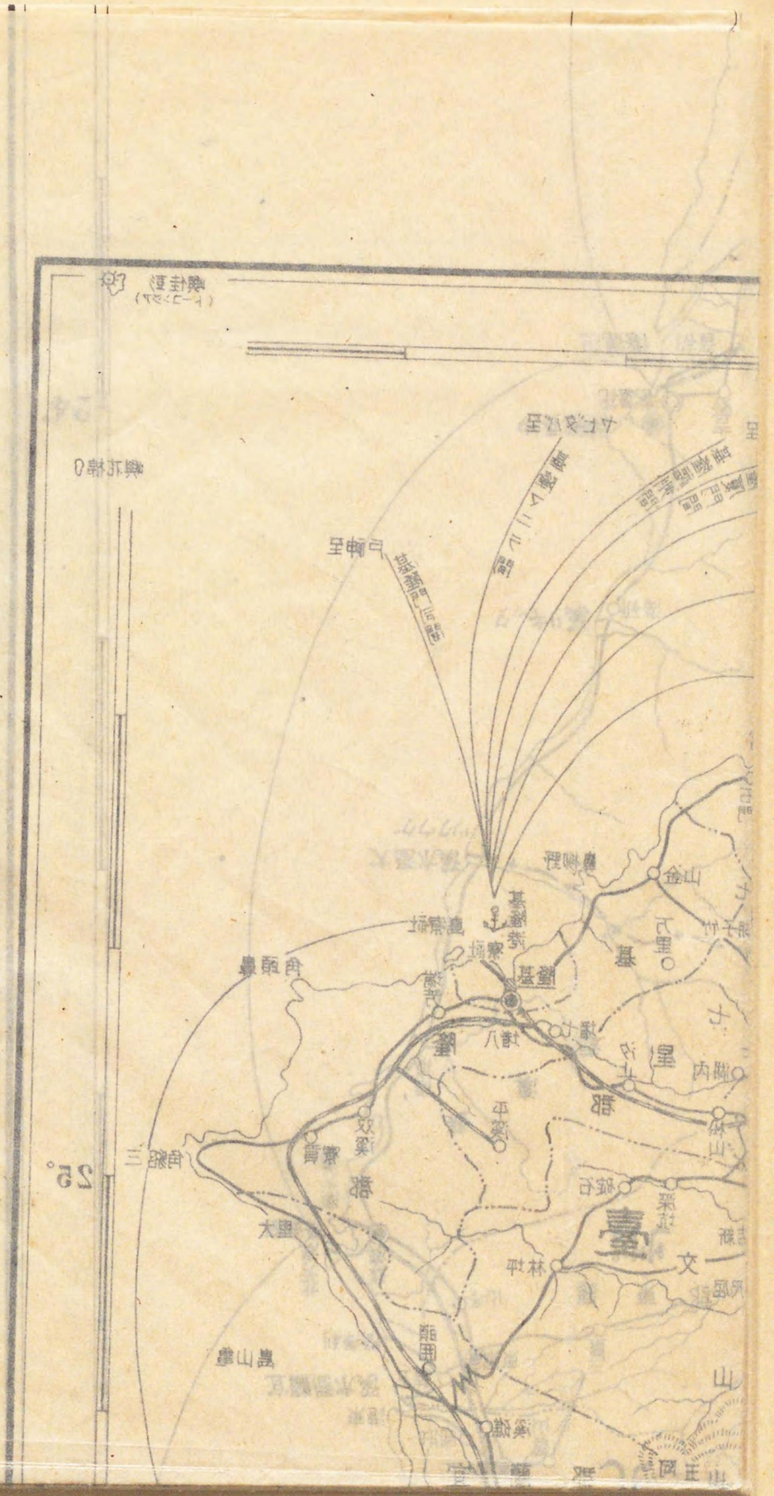
表號記

- 指定道路
- 鐵道
- 州廳界
- 郡市支廳界
- ◎ 州廳又ハ支廳所在地
- ▨ 市
- ◉ 郡役所所在地
- ○ 街庄役場所在地
- ● 要衝ノ地
- ⚓ 開港
- ⚓ 特別輸出入港
- 命令航路

臺南至 / 臺東至 / 高雄橫濱間 / 至橫濱 / ヤビタバ至

二層行溪 / 內湖 / 竹路 / 阿蓮 / 岡山郡 / 彌陀 / 岡山 / 田寮 / 旗山 / 旗山郡 / 巢燕 / 苓口 / 里港 / 高樹 / 東屏 / 雄東 / 臺東 / 卑南 / 都蘭 / 大南溪 / 東臺 / 知本溫泉 / 本知 / 呂家溪 / 本知溪 / 山主本知 / 山武大 / 廳東 / 里麻大 / 梓楠 / 武仁 / 樹大 / 山子月 / 長興 / 東屏 / 九塊 / 塩埔 / 松島 / 雄高 / 港雄高 / 鳳山郡 / 鳳山 / 竹田 / 埔內 / 恋万 / 丹万 / 大寮 / 新園 / 小港 / 埔林大 / 園林 / 州潮 / 潮州郡 / 東港郡 / 下淡水溪 / 東港溪 / 塭新 / 林邊 / 佳冬 / 林邊溪 / 琉球 / 寮庶水 / 寮枋 / 山枋 / 山林樹大 / 武大 / 溪港楓 / 港楓 / 四重溪 / 恒春 / 萬里得 / 城車 / 春恒郡 / 滿州 / 恒春 / 翠干 / 大坂埒港 / 鵝鑾鼻燈臺 / 七星石

22° / 120° / 121°



北 G-43